

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2015年3月3日に発表した2014年度決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文文書をご参照ください。本文書と原文との間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements> よりご覧いただけます。

Barclays PLC Results Announcement

31 December 2014

バークレイズ・ピーエルシー
2014年度決算報告書

2015年3月3日発表

目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	3-5
グループ最高責任者によるご挨拶	6
グループ財務担当取締役のレビュー	7-10
事業部門別業績	
• パーソナル・アンド・コーポレート バンキング	11-12
• インベストメント・バンク	13-15
• バークレイズ・ノンコア	16-17
四半期業績の要約	18-19
業績管理	
• 事業部門別リターンおよび株主資本	20-21
• 利ざやおよび残高	22
• 報酬	23-24
リスク管理	
• 資金調達リスクー流動性	25-27
• 資金調達リスクー資本	28-31
• 信用リスク	32
要約連結財務書類	33-36

Transform 目標に向かって着実に前進: 重点的なコスト削減の取り組みがグループおよびコア部門の税引前利益の増加を牽引。ノンコア部門の資産圧縮が年度を通して大きく進展し、グループの資本およびレバレッジ比率の改善に寄与。

- グループの調整後税引前利益は 12%増加し、55 億 200 万ポンドとなりました。コア部門の税引前利益は 66 億 8,200 万ポンドと 3%増加し、ノンコア部門の税引前損失は 11 億 8,000 万ポンドと 24%減少しました。
- 調整後営業費用合計は正味で 5%の人員削減を含む Transform プログラムのコスト削減策の効果により、9%減少し、180 億 6,900 万ポンドとなりました。Transform 達成費用を除く営業費用は 169 億 400 万ポンドと 17 億 8,000 万ポンド減少しました。
- 信用に関する減損費用は 29%減少し、21 億 6,800 万ポンドとなりました。ノンコア部門は 1 億 6,800 万ポンドと 7 億 3,200 万ポンド減少、コア部門は 20 億ポンドと 8%減少しました。
- コア部門では、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)、パークレイカード各部門が、増収と Transform 達成費用を除く営業費用の減少を受けて利益を伸ばし続けました。アフリカ・バンキング部門は為替変動の影響を除いたベースでは改善しましたが、公表決算は為替変動の悪影響を受けました。インベストメント・バンク部門は厳しい市場環境が収益に影響したものの、コスト削減とリスク調整後資産の効率化を図る一方で、戦略的な事業の再配置をさらに推し進めました。コア部門の平均株主資本利益率は Transform 達成費用を除き 10.9%でした(2013 年: 12.7%)。
- ノンコア部門の資産圧縮は大きく進展し、リスク調整後資産は 350 億ポンド減少し、750 億ポンドとなりました。2014 年度末の割当株主資本は 110 億ポンドと、40 億ポンド減少しました。
- CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier1(CET1)資本比率は 10.3%に上昇し(2013 年: 9.1%)、2016 年に 11%以上を目指すとした Transform の達成に向けて一段と前進しました。ノンコア部門の資産圧縮の順調な進展を受けてリスク調整後資産が 406 億ポンド減少し 4,020 億ポンドになったことと、資本が 415 億ポンドに増加した(2013 年: 404 億ポンド)ことが改善の主な要因です。2015 年 1 月 2 日付で完了したスペイン事業の売却を含めると、2014 年 12 月 31 日現在の CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は 10.5%に上昇します。
- バーゼル銀行監督委員会(BCBS)270 レバレッジ比率は 3.7%に上昇し、2016 年に 4%以上とする Transform の目標に近い水準となりました(2014 年 9 月: 3.5%)。この上昇は、決済残高の季節的な減少とノンコア部門のレバレッジ・エクスポージャーの持続的な減少を受け、2014 年度第 4 四半期にレバレッジ・エクスポージャーが大幅に減少して、1 兆 2,330 億ポンドになったことによるものです(2014 年 9 月: 1 兆 3,240 億ポンド)。
- 1 株当たりの正味有形資産価額は 285 ペンスに増加しました(2013 年: 283 ペンス)。

重要な調整項目:

- パークレイズ・ノンコア部門が公正価値ベースで保有する教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ローン・ポートフォリオに関連し、9 億 3,500 万ポンドの公正価値を見直し 2014 年度第 4 四半期に認識されました。これは評価方法で採用している割引率を変更したためです。この修正は CET1 資本比率、レバレッジ比率のいずれにも影響を与えません。
- 現在進行中の外国為替に関連する調査と訴訟に関連して 2014 年度下半期に 12 億 5,000 万ポンドを引当金として繰り入れました。これは 2014 年度第 4 四半期に追加した 7 億 5,000 万ポンドを含んでいます。
- 将来の補償および関連費用に関する最新かつ最良の見積もりに基づき、支払保障保険(PPI)に係る補償引当金の 2 億ポンドの追加繰入れを 2014 年度第 4 四半期に行いました。この結果、当年度の PPI および金利ヘッジ商品に係る補償引当金繰入額は正味 11 億 1,000 万ポンドとなりました。
- 米国リーマン買収に伴い取得した資産に関連する 4 億 6,100 万ポンドの利益を 2014 年度第 3 四半期に認識しました(2013 年度第 2 四半期: 2 億 5,900 万ポンド)。
- 2015 年 1 月 2 日付で完了したスペイン事業の売却に関連する 4 億 4,600 万ポンドの損失を 2014 年度第 3 四半期および第 4 四半期に計上しました。更に、売却が完了した 2015 年度第 1 四半期に約 1 億ポンドの累積為替換算差額累計額を損失として認識します。

業績ハイライト

当グループの決算報告	調整後			法定		
	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 ¹ (百万ポンド)	増減率(%)	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計	25,728	27,896	(8)	25,288	27,935	(9)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,168)	(3,071)	29	(2,168)	(3,071)	29
営業収益純額	23,560	24,825	(5)	23,120	24,864	(7)
営業費用	(15,993)	(17,739)	10	(15,993)	(17,818)	10
訴訟および特定行為	(449)	(441)	(2)	(2,809)	(2,441)	(15)
英国銀行税	(462)	(504)	8	(462)	(504)	8
営業費用(Transform 達成費用を除く)	(16,904)	(18,684)	10	(19,264)	(20,763)	7
Transform 達成費用	(1,165)	(1,209)	4	(1,165)	(1,209)	4
営業費用合計	(18,069)	(19,893)	9	(20,429)	(21,972)	7
発表したスペイン事業の売却に係る損失	-	-		(446)	-	
その他の収益/(費用)純額	11	(24)		11	(24)	
税引前利益	5,502	4,908	12	2,256	2,868	(21)
税金	(1,704)	(1,963)	13	(1,411)	(1,571)	10
税引後利益	3,798	2,945	29	845	1,297	(35)
非支配持分	(769)	(757)	(2)	(769)	(757)	(2)
その他の株主持分 ²	(250)	-		(250)	-	
株主帰属利益	2,779	2,188	27	(174)	540	

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ²	5.9%	4.8%	(0.3%)	1.2%
平均株主資本利益率 ²	5.1%	4.1%	(0.2%)	1.0%
収益に対する費用の比率	70%	71%	81%	79%
貸倒率(ベース・ポイント)	46	64	46	64
基本的1株当たり利益 ²	17.3 ペンス	15.3 ペンス	(0.7 ペンス)	3.8 ペンス
1株当たり配当金	6.5 ペンス	6.5 ペンス	6.5 ペンス	6.5 ペンス

貸借対照表およびレバレッジ

1株当たりの正味有形資産価額	285 ペンス	283 ペンス
1株当たりの純資産価額	335 ペンス	331 ペンス
BCBS 270 レバレッジ・エクスポージャー	12,330 億ポンド	n/a

資本管理

CRD IV 完全施行ベース		
普通株式 Tier 1 比率	10.3%	9.1%
普通株式 Tier 1 資本	415 億ポンド	404 億ポンド
Tier 1 資本	460 億ポンド	427 億ポンド
リスク調整後資産	4,020 億ポンド	4,420 億ポンド
BCBS 270 レバレッジ比率	3.7%	n/a

資金調達および流動性

グループ余剰流動性	1,490 億ポンド	1,270 億ポンド
推計 CRD IV 流動性カバレッジ比率	124%	96%
預貸率 ³	89%	91%

調整後利益の分析

調整後税引前利益	5,502	4,908
当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)	34	(220)
のれんの減損	-	(79)
支払保障保険(PPI)および金利ヘッジ商品に係る補償引当金繰入額	(1,110)	(2,000)
米国リーマン買収資産に係る利益 ¹	461	259
当局による為替業務に関する進行中の調査に係る引当金繰入額	(1,250)	-
発表したスペイン事業の売却に係る損失	(446)	-
ESHLA ポートフォリオに係る評価の見直し	(935)	-
法定税引前利益	2,256	2,868

1 当期決算における重要性を勘案し、前期との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの利益を除くよう修正再表示したものです。

2 その他の株主持分に帰属する税引後利益2億5,000万ポンド(2013年:ゼロポンド)は剰余金に計上する税額控除5,400万ポンド(2013年:ゼロポンド)により相殺されています。被支配持分にかかる1億9,600万ポンドは、1株当たり利益、平均有形株主資本利益率、平均株主資本利益率を計算するため税引後利益から差し引いて計算したものです。

3 貸付金:預貸率はパーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア・リテールに係るものです。

業績ハイライト

パークレイズ・コアおよびノンコアの 決算報告

	パークレイズ・コア			パークレイズ・ノンコア		
	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 ¹ (百万ポンド)	増減率(%)	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計	24,678	25,603	(4)	1,050	2,293	(54)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,000)	(2,171)	8	(168)	(900)	81
営業収益純額	22,678	23,432	(3)	882	1,393	(37)
営業費用	(14,483)	(15,809)	8	(1,510)	(1,930)	22
訴訟および特定行為	(251)	(173)	(45)	(198)	(268)	26
英国銀行税	(371)	(395)	6	(91)	(109)	17
Transform 達成費用	(953)	(671)	(42)	(212)	(538)	61
営業費用合計	(16,058)	(17,048)	6	(2,011)	(2,845)	29
その他の収益／(費用)純額	62	86	(28)	(51)	(110)	54
税引前利益／(損失)	6,682	6,470	3	(1,180)	(1,562)	24
税金(費用)／還付	(1,976)	(1,754)	(13)	272	(209)	
税引後利益／(損失)	4,706	4,716	-	(908)	(1,771)	49
非支配持分	(648)	(638)	(2)	(121)	(119)	(2)
その他の株主持分	(194)	-		(56)	-	
株主帰属利益／(損失)	3,864	4,078	(5)	(1,085)	(1,890)	43

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ²	11.3%	14.4%	(5.4%)	(9.6%)
平均割当有形株主資本	350 億ポンド	280 億ポンド	130 億ポンド	70 億ポンド
平均株主資本利益率 ²	9.2%	11.3%	(4.1%)	(7.2%)
平均割当株主資本	420 億ポンド	360 億ポンド	130 億ポンド	170 億ポンド
期末割当株主資本	450 億ポンド	390 億ポンド	110 億ポンド	150 億ポンド
収益に対する費用の比率	65%	67%	n/a	n/a
基本的1株当たり利益への寄与	24.0 ペンス	28.5 ペンス	(6.7 ペンス)	(13.2 ペンス)

資本管理

リスク調整後資産	3,270 億ポンド	3,330 億ポンド	750 億ポンド	1,100 億ポンド
BCBS 270 レバレッジ・エクスポージャー	9,560 億ポンド	n/a	2,770 億ポンド	n/a

事業部門別損益

	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	8,828	8,723	1
パークレイカード	4,356	4,103	6
アフリカ・バンキング	3,664	4,039	(9)
インベストメント・バンク ¹	7,588	8,596	(12)
本社	242	142	70
パークレイズ・コア	24,678	25,603	(4)
パークレイズ・ノンコア	1,050	2,293	(54)
パークレイズ・グループ調整後損益合計	25,728	27,896	(8)

事業部門別税引前利益／(損失)

	2014年 12月31日 (百万ポンド)	2013年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	2,885	2,233	29
パークレイカード	1,339	1,183	13
アフリカ・バンキング	984	1,049	(6)
インベストメント・バンク ¹	1,377	2,020	(32)
本社	97	(15)	
パークレイズ・コア	6,682	6,470	3
パークレイズ・ノンコア	(1,180)	(1,562)	24
パークレイズ・グループ調整後税引前利益合計	5,502	4,908	12

¹ 当期決算における重要性を勘案し、前期との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの収益を除くよう修正再表示したものです。

² パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コアの利益率の差を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率、平均有形株主資本利益率を示すものではありません。

グループ最高責任者によるご挨拶

「現在のパークレイズは金融危機以降のどの時点よりも強さを増し、見通しも改善しています。

パークレイズを変革する取り組みはまだ完了していませんが、2014 年度決算は当グループが正しい軌道を進んでいることを確信できるものとなりました。

グループの調整後税引前利益は前年度比 12%増加しました。パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード各部門は順調に拡大を続けています。アフリカ・バンキング部門は為替変動の悪影響を受けたにもかかわらず、好調に推移しました。また、インベストメント・バンク部門のいくつかの分野は将来に向けて期待が持てる業績を残しました。

当年度の Transform の取り組みは 2016 年の目標達成に向けて特にコスト、資本、レバレッジの面で成果を上げ、当グループの戦略が機能していることを改めて裏付けました。

コスト面では、大幅な削減策を進めた結果、営業費用は 2014 年度に 18 億ポンド近く減少しました。これは Transform 達成費用を除くグループの調整後のコストベースの 10%に相当します。この直近 12 ヶ月間の成果は 2015 年度の更なるコスト削減効果とともに当グループがすべての事業においてリターンを増加させ、持続可能な競争上の優位を高めるための基盤強化をもたらすでしょう。パークレイズの将来を担うコア部門では、Transform 達成費用を除く調整後株主資本利益率がほぼ 11%に達し、2016 年に 12%以上という目標の達成に向けて順調に進展しています。パークレイズ・ノンコア部門の資産圧縮は前倒しで進展しており、リスク調整後資産は 750 億ポンドとほぼ 350 億ポンド減少し、株主資本利益率の低下への影響度は 7.2%から 4.1%に縮小しました。

2014 年度には資本状況の強化について大きな進展がみられました。CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は 2015 年 1 月 2 日付で完了したスペイン事業売却と現在進行中の外国為替に関連する調査と訴訟のために第 4 四半期に積み増した引当金の影響を考慮しても、前年度の 9.1%から 10.5%に改善しました。また、同じく重要な点として、レバレッジ比率が 3.7%に上昇しました。これは、これらの指標がそれぞれ 11%以上、4%以上とする Transform の 2016 年目標の達成に向けて順調に進展していることを意味します。

配当については、特定行為に係る引当金の影響にもかかわらず、2014 年度は合計 6.5 ペンスの配当金をお支払いすることを発表しました。グループの資本状況に関しては自信を深めつつ、引き続き 40%から 50%の配当率を目指していきます。

また、今年度から初めて全組織に導入したバランスト・スコアカードで定めた目標面でも順調に成果を上げています。顧客、従業員、営業行為、企業市民活動、会社に関する個々の指標は経営陣および従業員の人事評価と報酬に直接結び付いており、それぞれが当グループの目的と価値観に沿って、正しい方法によって業績を上げているようにしています。

外国為替取引に関連を含む未解決の特定行為の問題には引き続き注力していくつもりです。こうした調査の中心にある行為はパークレイズの価値と全く相容ないものであり、従業員や株主の皆様がこうした問題が業務に悪影響を及ぼすのではないかと懸念されることと思います。しかしこうした問題を解決することはパークレイズの計画の重要な一角をなすものであり、困難を伴うかと思われませんが 2015 年も本領域において大きな進展がみられると期待しています。

したがって、2014 年度に着実に前進しましたが、まだやるべきことは残されています。今後もグループ全体の歩調を確固たるものとし、各事業部門のリターンの改善に取り組み、計画の実行を加速させていく所存です。

2015 年度はパークレイズにとって引き続き実行の年になるでしょう。」

グループ最高責任者 アントニー・ジェンキンス

損益計算書

グループの業績

- 調整後税引前利益は 12%増加し、55 億 200 万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門の減益とアフリカ・バンキング部門の決算に悪影響を与えた為替変動により一部相殺されたものの、PCB、パークレイカード、ノンコア各部門が改善したためです。
- 調整後収益は 8%減少し、257 億 2,800 万ポンドとなりましたが、減損費用が 29%減少し、21 億 6,800 万ポンドとなったことで、営業収益純額は 5%減の 235 億 6,000 万ポンドとなりました。
- 調整後営業費用合計は、正味で 5%の人員削減を含む Transform プログラムによる費用削減および為替変動の影響を反映し、9%減少し、180 億 6,900 万ポンドとなりました。
 - 人件費合計は 8%減少し、88 億 9,100 万ポンドとなりました。人員の減少ならびに繰延および当期賞与費用の減少を反映し、インベストメント・バンク部門の人件費は 36 億 2,000 万ポンドと 9%減少しました。
 - 営業費用は Transform 達成費用を除き、169 億 400 万ポンドでした(2013 年: 186 億 8,400 万ポンド)。Transform 達成費用は 11 億 6,500 万ポンドでした(2013 年: 12 億 900 万ポンド)。
- 法定税引前利益は 22 億 560 万ポンドとなりました(2013 年: 28 億 6,800 万ポンド)。支払保障保険(PPI)および金利ヘッジ商品に係る補償引当金の正味 11 億 1,000 万ポンド(2013 年: 20 億ポンド)の追加繰入額、米国リーマン買収資産に関連する 4 億 6,100 万ポンドの利益(2013 年: 2 億 5,900 万ポンド)、外国為替に関連する進行中の調査と訴訟に関連した引当金繰入額 12 億 5,000 万ポンド、先に発表したスペイン事業の売却に関連する 4 億 4,600 万ポンドの損失、ESHLA の 9 億 3,500 万ポンドの価値の再評価を主に反映しています。
- 調整後税引前利益の実効税率は 31.0%(2013 年: 40.0%)に低下し、法定税引前利益の実効税率は 62.5%に上昇しました(2013 年: 54.8%)。外国為替に関する進行中の調査と訴訟のための引当金を含む控除できない費用が主たる原因です。なお 2013 年の実効税率はスペインにおける繰延税金資産、4 億 4,000 万ポンドの減額が含まれていました。
- グループの調整後株主帰属利益は 27 億 7,900 万ポンドとなり(2013 年: 21 億 8,800 万ポンド)、グループの調整後平均株主資本利益率は 5.1%に上昇しました(2013 年: 4.1%)。

コア部門の業績

- 税引前利益は 66 億 8,200 万ポンドと、3%増加しました。インベストメント・バンク部門の減益と、アフリカ・バンキング部門の公表決算に影響を与えた為替変動により一部相殺されたものの、PCB、パークレイカード各部門が改善したためです。
- 収益は 4%減少し、246 億 7,800 万ポンドとなりました。パークレイカード、PCB 各部門の増収により一部相殺されたものの、75 億 8,800 万ポンドとなったインベストメント・バンク部門の 12%の減収と為替変動を受けたアフリカ・バンキング部門の減収を反映しています。インベストメント・バンク部門の 2014 年度第 4 四半期の収益は 16 億 6,600 万ポンドと、2013 年度第 4 四半期比で 7%減少しました。顧客取引量の減少とボラティリティの低下を受け、クレジットおよびマクロ業務がそれぞれ 25%、14%の減収となったためです。
 - PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキング各部門の利息収入純額は為替変動によるアフリカ・バンキング部門の減少により一部相殺されたものの、PCB の大幅な増加とパークレイカードの取扱高の伸びを反映して、4%増加し、114 億 3,500 万ポンドとなりました。この結果、純利ざやは 4.08%となりました(2013 年: 4.02%)。
- 信用に関する減損費用は 8%改善し、20 億ポンドとなりました。これは英国の経済環境の改善を受け、PCB 部門、特に一時的な引当金戻入れと英国の大企業顧客の債務不履行の減少に伴うコーポレート・バンキングの改善と、アフリカ・バンキング部門における南アフリカ・モーゲージ・ポートフォリオの減損費用の減少を反映しています。2014 年度第 4 四半期の信用に関する減損費用はパークレイカードの減免へのカバレッジ強化を受けて 5 億 7,300 万ポンドに増加しました(2014 年度第 3 四半期: 5 億 900 万ポンド)。
- 営業費用合計は 6%減少し、160 億 5,800 万ポンドとなりました。Transform 達成費用が 9 億 5,300 万ポンド(2013 年: 6 億 7,100 万ポンド)に増加したことで一部相殺されたものの、Transform プログラムにより大幅に費用が削減されたことを反映しています。2014 年度第 4 四半期の Transform 達成費用は支店網の再編と自動化促進のための技術投資により PCB 部門を中心に 2 億 9,800 万ポンドに増加しました(2014 年度第 3 四半期: 2 億 200 万ポンド)。
- 株主帰属利益は 38 億 6,400 万ポンドに減少しました(2013 年: 40 億 7,800 万ポンド)。2013 年度の税率を低下させた税控除が当期は発生しなかったことを主因に実効税率が上昇したこと、2014 年度の追加的 Tier 1 証券に関連する他の株主への配分を反映しています。平均割当株主資本は 420 億ポンドに増加し(2013 年: 360 億ポンド)、結果、コア部門の株主資本利益率は 9.2%に下がりました(2013 年: 11.3%)。

ノンコア部門の業績

- 税引前損失は以下を反映して 24%減少し、11 億 8,000 万ポンドとなりました。
 - アラブ首長国連邦(UAE)のリテール・バンキング・ポートフォリオの売却益 1 億 1,900 万ポンドにより一部相殺されたものの、資産および証券の圧縮ならびに事業の売却に伴い、収益は 10 億 5,000 万ポンドに減少しました(2013 年: 22 億 9,300 万ポンド)。
 - 信用に関する減損費用はシングルネームのエクスポージャーの減損費用が当年度は発生しなかったこと、ホールセール・ポートフォリオに係る引当金戻入れ、欧州の業況の改善を受けて 7 億 3,200 万ポンド減少し、1 億 6,800 万ポンドとなりました。
 - 人員減少および以前に発表された欧州リテール事業の再構築を含む Transform プログラムによる費用削減効果と Transform 達成費用が 2 億 1,200 万ポンドに減少したこと(2013 年: 5 億 3,800 万ポンド)を反映し、営業費用合計は 29%減少し、20 億 1,100 万ポンドとなりました。
- リスク調整後資産の 350 億ポンドの減少を反映し、ノンコア部門の株主資本利益率の低下への影響度は 4.1%に改善しました(2013 年: 7.2%)。

貸借対照表およびレバレッジ

貸借対照表

- 資産合計は 1 兆 3,580 億ポンドと概ね横ばいとなりました(2013 年: 1 兆 3,440 億ポンド)。
 - デリバティブ資産は、デリバティブ負債が 920 億ポンド増加し 4,390 億ポンドとなったことから 900 億ポンド増加し、4,400 億ポンドとなりました。これは主要先渡金利の低下を受けた金利デリバティブの増加が主因です。
 - 貸借対照表のレバレッジの解消によりマッチド・ブック取引が減少した結果、リバース・レポ取引およびその他類いの担保付貸付は 550 億ポンド減少し、1,320 億ポンドとなりました。
 - 貸付金合計は 40 億ポンド減少し、4,700 億ポンドとなりました。パークレイカードと PCB の貸出が伸びましたが、売却目的保有であるスペイン事業に関連する 130 億ポンドの貸付金その他の資産に再分類されたにより一部相殺されました。
- 顧客預かり金は、PCB とパークレイカードにおける 50 億ポンドの増加により一部相殺されたものの、スペイン事業に関連する 80 億ポンドをその他負債に再分類した結果、40 億ポンド減少し、4,280 億ポンドとなりました。
- 株主資本合計(非支配持分を含む)は 660 億ポンドでした(2013 年: 640 億ポンド)。非支配持分を除いた株主資本は 600 億ポンドに増加しました(2013 年: 550 億ポンド)。優先株および劣後債を消却する代わりとして投資家に持分法適用追加的 Tier 1(AT1)証券を発行したことにより、その他の持分商品が 20 億ポンド増加したことと、先渡金利の低下に伴う収益を受けてキャッシュフロー・ヘッジ再評価差額が 20 億ポンド増加したことを主に反映しています。
- 1 株当たりの純資産価額は 335 ペンスに増加し(2013 年: 331 ペンス)、1 株当たりの正味有形資産価額は 285 ペンスに増加しました(2013 年: 283 ペンス)。

レバレッジ・エクスポージャー

- バーゼル銀行監督委員会(BCBS) 270 レバレッジ・エクスポージャーは主に以下を受け、2014 年度第 4 四半期に 910 億ポンド減少し、1 兆 2,330 億ポンドとなりました。
 - 貸付金およびその他資産は 520 億ポンド減少し、7,130 億ポンドになりました。季節要因による決済残高の 280 億ポンドの減少に伴う現金残高の 130 億ポンドの減少が主因です。
 - 証券金融取引(SFT)はリバース・レポ取引の減少、ならびにノンコア部門の取引量の減少と取引量の季節的な減少を反映した SFT 調整の減少を受け、350 億ポンド減少し、1,570 億ポンドとなりました。
 - デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー(PFE)は、取引の圧縮および解消を含む事業活動の減少と最適化を進めたことを主に受け、160 億ポンド減少し、1,790 億ポンドとなりました。

資本管理

- CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は、リスク調整後資産が 406 億ポンド減少し 4,020 億ポンドになったことと、CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本が 11 億ポンド増加し 415 億ポンドになったことを受けて 10.3%に上昇しました(2013 年: 9.1%)。
 - 330 億ポンドの調整項目を吸収したことによる CET1 資本の増加は、その他の適格資本再評価差額の 16 億ポンドの増加と、規制上の調整および控除の減少による 6 億ポンドの増加を受けたものですが、12 億ポンドを配当原資として認識したこと一部相殺されました。2015 年 1 月 2 日付で完了したスペイン事業の売却を含めると、2014 年 12 月 31 日現在の CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は 10.5%に上昇します。
 - リスク調整後資産の減少は、事業の売却、証券および融資の圧縮と清算、デリバティブ・リスクの削減を反映し、ノンコア部門が 350 億ポンド減少し 750 億ポンドになったことが主因です。
- BCBS270 レバレッジ比率は 3.7%に上昇しました(2014 年 9 月: 3.5%)。決済残高の季節的な減少とノンコア部門のエクスポージャーの持続的な減少を受け、BCBS270 レバレッジ・エクスポージャーが 1 兆 2,330 億ポンドに減少したこと(2014 年 9 月: 1 兆 3,240 億ポンド)を反映しています。2015 年 1 月 2 日付で完了したスペイン事業の売却を含めると、2014 年 12 月 31 日現在の BCBS270 レバレッジ比率は 3.8%に上昇します。

資金調達および流動性

- 当グループは 2014 年度に流動性ポジションを強化し、グループの流動性リスク選好度を上回る流動性を確保しました。これにより、当グループは、信用格付機関がパークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用格付に織り込んでいるソブリン・サポートを見直し、信用格付が変更された場合にも十分備えることが可能になります。結果的にグループ余剰流動性は 1,490 億ポンドに増加しました(2013 年:1,270 億ポンド)。CRD IV 基準に基づく推定流動性カバレッジ比率(LCR)は 124%に上昇しました(2013 年:96%)。これは 300 億ポンドの余剰に相当します(2013 年:60 億ポンドの不足)。
- 当グループは多様で安定した資金調達基盤を維持しました。ホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は 1,710 億ポンドでした(2013 年:1,860 億ポンド)。当グループはホールセール無担保、有担保、債務資本市場において期限前償還控除後の純額で 150 億ポンドの起債を実施しました(2013 年:10 億ポンド)。

法令、競争、規制事項

- 当グループが直面している法令、競争および規制上の課題の詳細は英語版年次報告書の 306-314 ページにある注記 29 に記載されています。これらの事項が当グループに与える影響の規模は必ずしも予測可能ではなく、当グループのオペレーション、業績、業況、見通しに重要な影響を及ぼす可能性があります。
- 法令、競争、規制事項に関連する引当金残高は 16 億 9,000 万ポンドです(2013 年:4 億 8,500 万ポンド)。2014 年度におけるこれら引当金およびかかる事項の影響を受ける資産価値の変更には以下が含まれます。
 - 外国為替に関していくつかの当局が関与する進行中の調査と訴訟の一部について 12 億 5,000 万ポンドの引当金を認識しました。これは 2014 年度第 4 四半期に積み増した 7 億 5,000 万ポンドの引当金を含みます。
 - 2008 年の米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産の回収可能性の改善に伴い、2014 年度第 3 四半期に 4 億 6,100 万ポンドの利益を計上しました。この資産価値の変更は米国第 2 巡回区連邦控訴裁が 2014 年度第 3 四半期に当グループに有利な決定を下したことを受けたものです。

その他の事項

- パークレイズ・ノンコア部門が保有する公正価値 174 億ポンドの ESHLA ポートフォリオに関連して 9 億 3,500 万ポンドの公正価値を見直しを 2014 年度第 4 四半期に認識しました。このポートフォリオは主に信用力の高い長期固定金利ローンで構成されています。価値の不確実性は長期資産であることと、流通市場がなく預貸利ざやが把握できないことに起因します。この修正は外部機関による情報と、外部機関がこれら資産の評価を行う際に考慮する要因を組み入れて 2014 年度第 4 四半期に評価方法を変更したことを受けたものです。また、これは LIBOR を基準とするディスカウントに基づく資産評価からのシフトを図る最近の業界のトレンドとも整合的です。対応する同ポートフォリオに関連するブルーデンス評価調整(PVA)額を年末時に削減したため、この修正が CET1 比率に影響することはありません。
- PPI に係る補償引当金は、11 億 8,200 万ポンドを取り崩し、12 億 7,000 万ポンドの追加繰入れを行ったことにより、残高は 10 億 5,900 万ポンドとなりました(2013 年:9 億 7,100 万ポンド)。これは将来の補償および関連費用に関する最新の見積もりに基づき 2014 年度第 4 四半期に計上した 2 億ポンドの追加繰入れを含みます。引当金残高は将来の費用に関するパークレイズの現時点の最良の見積もりを反映しています¹。
- 金利ヘッジ商品に係る補償引当金は、7 億 9,800 万ポンドを取り崩し、2014 年度第 3 四半期に 1 億 6,000 万ポンドの戻入れを行ったことにより、2 億 1,100 万ポンドとなりました(2013 年:11 億 6,900 万ポンド)。審査の大部分が終了し、2014 年中に補償実行の対象であるほぼ全ての顧客に結果を通知しました¹。
- 先に発表したスペイン事業の売却に関連する 4 億 4,600 万ポンドの損失は、当年度末に売却で合意したスペイン事業資産の 7 億 6,100 万ポンドの減損処理によるものですが、関連するヘッジ商品の 3 億 1,500 万ポンドの収益により一部相殺されました。2015 年 1 月 2 日付の売却の完了を受け、約 1 億ポンドの累積為替換算差額損失を認識します。売却完了後、資産は 134 億ポンド、負債は 128 億ポンド、リスク調整後資産は 50 億ポンドそれぞれ減少します。スペイン事業の売却により失われる約 2 億 8,000 万ポンドの年間収益は営業費用の 2 億 4,000 万ポンドの減少により概ね相殺されます。

配当

- 2014 年度の最終配当として 1 株当たり 3.5 ペンスを 2015 年 4 月 2 日付でお支払いします。年間の配当金は合計で 1 株当たり 6.5 ペンスになります。普通株主への配当金支払総額は 23%増加し、10 億 5,700 万ポンドとなりました。

¹ 顧客向け補償引当金の詳細については英語版年次報告書の 303-305 ページにある注記 27 をご参照ください。

見通し

- 世界のマクロ経済状況は、今年一年を通して引き続き不透明な状況にあることが予想されますが、規制要請やいくつかの特定行為に係る問題については、より先行きが見通せる状況になったと考えています。われわれの優先事項は、特定行為に係る問題が解決されたことを確認した後、CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率を 2016 年中に 11%超とする目標を目指し、グループの資本状況を引き続き強化することです。
- 2016 年にリスク調整後資産を 450 億ポンドとする目標(1 月にスペインの事業の売却の完了を受けて変更)に向け、2015 年にはノンコア部門の縮小を更に進展させる予定です。ノンコアの収入は、第 4 四半期にみられた事業の売却や縮小の進展に伴い 2014 年の水準から大幅に低下する見込みです。2015 年もノンコアがグループの株主資本利益率に与えるマイナス影響はガイドラインが従来発表している、3%から 6%の範囲に収まると考えられます。
- グループが事業を展開する市場のさまざまな経済要因を背景に、グループ全体の信用力の質は昨今の基本的な趨勢にとどまると考えられます。2015 年の営業費用に関しては、Transform 達成費用(CTA)を除き、グループ全体で 2014 年の成果を更に上回る 163 億ポンドの削減を見込んでいます。CTA は 2015 年はおよそ 7 億ポンド、2016 年は 2 億ポンドになる見通しです。また純利ざやは 2015 年を通して概ね安定すると考えています。現在の傾向や強力な銀行パイプラインに基き、インベストメント・バンク部門の 2015 年度第 1 四半期の収益は第 4 四半期の結果を大幅に上回り、2014 年度第 1 四半期の収益に近いものとなると思われます。
- 私どもはグループ全体として、2016 年の Transform の目標の達成に向け、前向きな事業基盤の構築を目指してまいります。また、可能な限り、こうした目標の達成の前倒しを図っていく所存です。

グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

事業部門別業績

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング (PCB)

損益計算書関連の情報	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2013年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
利息収入純額	6,298	5,893	7
手数料収入純額	2,443	2,723	(10)
その他の収益	87	107	(19)
収益合計	8,828	8,723	1
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(482)	(621)	22
営業収益純額	8,346	8,102	3
営業費用	(5,005)	(5,460)	8
英国銀行税	(70)	(66)	(6)
Transform 達成費用	(400)	(384)	(4)
営業費用合計	(5,475)	(5,910)	7
その他の収益純額	14	41	(66)
税引前利益	2,885	2,233	29
株主帰属利益	2,058	1,681	22

貸借対照表関連の情報	2014年12月31日現在 (億ポンド)	2013年12月31日現在 (億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,170	2,122
資産合計	2,850	2,785
顧客預り金	2,992	2,959
リスク調整後資産	1,202	1,183

パフォーマンス指標	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在
平均有形株主資本利益率	15.8%	12.7%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	131	132
平均株主資本利益率	11.9%	9.7%
平均割当株主資本(億ポンド)	175	173
収益に対する費用の比率	62%	68%
貸倒率(ベース・ポイント)	21	28

収益合計内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率(%)
パーソナル	4,159	4,040	3
コーポレート	3,592	3,620	(1)
ウェルス	1,077	1,063	1
収益合計	8,828	8,723	1

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)内訳	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル	1,368	1,338
コーポレート	651	625
ウェルス	151	159
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	2,170	2,122

顧客預り金内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パーソナル	1,458	1,405
コーポレート	1,222	1,185
ウェルス	312	369
顧客預り金合計	2,992	2,959

2014年度と2013年度の比較

- 税引前利益は 28 億 8,500 万ポンドと 29%増加しました。パーソナル・バンキングの 3%の増加、英国の経済環境の改善を受けた減損費用の減少、Transform 戦略の進展に伴う営業費用の持続的な減少を反映しています。この結果、平均株主資本利益率は 2.2%上昇し、11.9%となりました。パーソナル・バンキングでは、現在進めている支店網の最適化の一環として正味で 72 支店を閉鎖するとともに各種販路で顧客満足度の向上に向けた投資を進めたことで、コストが大幅に減少すると同時に収益が 1 億 1,900 万ポンド増加しました。コーポレート・バンキングは貸付金と預金がともに増加しました。ウェルスでは業務の簡素化を図る一方で対象とする市場を絞り込むための大規模な組織再編に着手しました。
- 収益合計は 1%増加し、88 億 2,800 万ポンドとなりました。

事業部門別業績

- パーソナル・バンキングの収益は手数料収入の減少により一部相殺されたものの、残高の増加と預金利ざやの改善を受けて3%増加し41億5,900万ポンドとなりました。
- コーポレート・バンキングの収益は35億9,200万ポンドと概ね横ばいでした(2013年:36億2,000万ポンド)。貸付金と預金の残高がともに増加しましたが、利ざやの縮小により相殺されました。
- ウェルスの収益は10億7,700万ポンドと概ね横ばいでした(2013年:10億6,300万ポンド)。英国事業が伸びましたが、米国および欧州事業の再編に伴う顧客との取引終了および市場からの撤退、ならびに手数料収入の減少により相殺されました。
- 利息収入純額は貸付金および預金の増加と利ざやの改善を受けて7%増加し、62億9,800万ポンドとなりました。純利ざやは9ベース・ポイント上昇し、3.00%となりました。当座預金収入の大半を手数料収入ではなく利息収入純額として認識する処理方法への変更とパーソナル・バンキングおよびウェルスの預金利ざやの上昇を主に受けたものですが、これらの要因はコーポレート・バンキングの預金利ざやの低下により一部相殺されました。
- 手数料収入純額は当座預金に関する処理方法の変更とウェルスの取引収益の減少を受けて10%減少し、24億4,300万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は22%改善し、4億8,200万ポンドとなり、貸倒率は7ベース・ポイント低下し、21ベース・ポイントとなりました。英国の経済環境の改善を背景に、特にコーポレート・バンキングで一時的な引当金戻入れと英国の大企業顧客の債務不履行の減少によって、改善がみられたことを反映しています。
- 営業費用合計は7%減少し、54億7,500万ポンドとなりました。支店網の再編と自動化促進のための技術改善に関連するTransformプログラムによるコスト削減効果を反映しています。
- 顧客に対する貸付金はモーゲージの伸びとコーポレート・バンキングの貸付金の伸びを受けて2%増加し、2,170億ポンドとなりました。
- 資産合計は顧客に対する貸付金の伸びを受けて2%増加し、2,850億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は2,992億ポンドに増加しました(2013年:2,959億ポンド)。
- リスク調整後資産は主にモーゲージおよびコーポレート・バンキングの貸付の増加を受けて2%増加し、1,202億ポンドとなりました。

2014年度第4四半期と2014年度第3四半期の比較

- 税引前利益は20%減少し、6億2,800万ポンドとなりました。支店網の再編および技術改善に向けた投資の増加を受けたTransform達成費用の1億9,500万ポンドへの増加(2014年度第3四半期:9,000万ポンド)と7,000万ポンドの英国銀行税(2014年度第3四半期:ゼロポンド)を反映しています。

事業部門別業績

インベストメント・バンク

損益計算書関連の情報	2014年12月31日に	2013年12月31日に	増減率(%)
	終了した年度 (百万ポンド)	終了した年度 ¹ (百万ポンド)	
利息収入純額	647	393	65
手数料収入純額	3,087	3,232	(4)
トレーディング収益純額	3,735	4,969	(25)
投資収益純額	119	2	
収益合計	7,588	8,596	(12)
信用に関する減損戻入／(費用)およびその他の引当金繰入額	14	22	(36)
営業収益純額	7,602	8,618	(12)
営業費用	(5,633)	(6,172)	9
英国銀行税	(218)	(236)	8
Transform 達成費用	(374)	(190)	(97)
営業費用合計	(6,225)	(6,598)	6
税引前利益	1,377	2,020	(32)
株主帰属利益	397	1,308	(70)

貸借対照表関連の情報	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ²	1,063	1,045
トレーディング・ポートフォリオ資産	948	966
デリバティブ金融資産	1,526	1,087
デリバティブ金融負債	1,606	1,166
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	643	782
資産合計 ¹	4,557	4,380
リスク調整後資産 ¹	1,224	1,244

パフォーマンス指標	2014年12月31日	2013年12月31日
	平均有形株主資本利益率	2.8%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	146 億ポンド	153 億ポンド
平均株主資本利益率	2.7%	8.2%
平均割当株主資本(億ポンド)	154 億ポンド	159 億ポンド
収益に対する費用の比率	82%	77%

収益合計内訳

インベストメント・バンキング手数料	2,111	2,160	(2)
貸付	417	325	28
バンキング	2,528	2,485	2
クレジット	1,044	1,257	(17)
株式	2,046	2,297	(11)
マクロ	1,950	2,580	(24)
市場	5,040	6,134	(18)
バンキングおよび市場	7,568	8,619	(12)
その他 ¹	20	(23)	
収益合計	7,588	8,596	(12)

2014年度と2013年度の比較

- 税引前利益は32%減少し、13億7,700万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門では、コスト削減とリスク調整後資産の効率化を進める一方で、本国市場である英国と米国における主導的地位を生かし、オリジネーションを牽引役とする戦略を引き続き進展させています。市場業務ではより簡素な商品に注力しています。これにより、既存の強みを生かし、規制の変化に対応することを可能にします。マーケット・メイキングが困難な環境や取引活動の持続的な低迷にもかかわらず、インベストメント・バンク部門はこの戦略を実行し続けました。市場の逆風は特にクレジットおよび金利商品に影響を及ぼし、市場業務全般で収益の減少を招きましたが、バンキング業務のパフォーマンスの改善と Transform プログラムの効果による大幅なコスト削減により一部相殺されました。

¹ 当期決算における重要性を勘案し、前期との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの利益を除くよう修正再表示したものです。また、2013年12月の米国リーマン買収に伴う資産およびリスク調整後資産16億ポンドは、この件の解決に係る責任をより正確に反映することを目的にインベストメント・バンクから本社に再分類されています。

² 2014年12月31日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金864億ポンド(2013年:841億ポンド)(決済残高258億ポンド(2013年:332億ポンド)および現金担保322億ポンド(2013年:256億ポンド)を含む)、銀行に対する貸付金199億ポンド(2013年:204億ポンド)(決済残高27億ポンド(2013年:44億ポンド)および現金担保69億ポンド(2013年:64億ポンド)を含む)を含みます。

事業部門別業績

- 収益合計は英ポンドに対する米ドル(平均)の下落の影響を含め、12%減少し、75億8,800万ポンドとなりました。
 - － バンキング業務の収益は2%増加し、25億2,800万ポンドとなりました。インベストメント・バンキング手数料収入は21億1,100万ポンドと2%減少しました。財務アドバイザーおよび株式引受の手数料の増加により一部相殺されたものの、債券引受手数料が減少したためです。貸付収益はヘッジの公正価値損失の減少と利息収入および手数料収入純額の増加を受けて4億1,700万ポンド(2013年:3億2,500万ポンド)に増加しました。
 - － 市場業務の収益は18%減少し、50億4,000万ポンドとなりました。
 - － クレジットの収益はボラティリティと顧客の取引活動の低下を背景にディストレス・クレジット、米国の高利回りおよび高格付け商品の収益が減少したことを受け、17%減少し10億4,400万ポンドとなりました。
 - － 株式の収益は11%減少し20億4,600万ポンドとなりました。株式資本調達からの収益の増加によって一部相殺されたものの、顧客取引高の減少を背景とする現物株および株式デリバティブの減収を反映しています。
 - － マクロの収益は金利商品における顧客取引活動の低下および2014年度上半期の為替市場におけるボラティリティの低下を反映し、24%減少し19億5,000万ポンドとなりました。
- 複数のシングルネームのエクスポージャーに関連し、正味で1,400万ポンドの信用に関する減損戻入れ(2013年:2,200万ポンド)を行いました。
- 営業費用合計は6%減少し、62億2,500万ポンドとなりました。人件費の36億2,000万ポンドへの9%の減少、事業の再配置を含むTransformプログラムの費用削減効果、技術基盤および不動産インフラの持続的な合理化、英ポンドに対する米ドル(平均)の下落を反映していますが、Transform達成費用が3億7,400万ポンドに増加したこと(2013年:1億9,000万ポンド)と訴訟および特定行為に係る費用により一部相殺されました。
- 銀行および顧客に対する貸付金は取引活動の低下による決済残高の減少により一部相殺されたものの、現金担保および貸付の増加を受けて2%増加し、1,063億ポンドとなりました。
- デリバティブ金融商品資産および負債は英ポンド、米ドル、ユーロを中心とする先渡金利の低下と主要通貨に対する米ドルの上昇を背景にそれぞれ40%増の1,526億ポンド、38%増の1,606億ポンドとなりました。
- リバース・レポ取引およびその他の類似の担保付貸付はマッチド・ブック取引および資金調達需要の減少を受けて18%減少し、643億ポンドとなりました。
- 資産合計はリバース・レポ取引およびその他の類似の担保付貸付、ならびに公正価値で保有する金融資産の減少により一部相殺されたものの、デリバティブ金融商品資産の増加を受けて4%増加し、4,557億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は、カウンターパーティーの債務不履行確率の評価に用いる信用リスク・モデルの見直しの影響により一部相殺されたものの、トレーディング勘定におけるリスクの減少を主に受けて2%減少し、1,224億ポンドとなりました。

2014年度第4四半期と2013年度第4四半期の比較

- 収益合計は英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇の影響を含め、7%減少し、16億6,600万ポンドとなりました。
 - － バンキング業務の収益は6億3,800万ポンドと前年同期比横ばいでした。インベストメント・バンキング手数料収入は引受手数料および財務アドバイザー手数料の減少を受けて8%減少し、5億2,700万ポンドとなりました。貸付収益はヘッジの公正価値損失の減少と利息収入および手数料収入純額の増加を受けて1億1,100万ポンドに増加しました(2013年度第4四半期:6,800万ポンド)。
 - － 市場業務の収益は10%減少し、10億2,800万ポンドとなりました。
 - － クレジットの収益はディストレス・クレジット、証券化商品、米国高格付け商品の減収により25%減少し、1億7,300万ポンドとなりました。
 - － 株式の収益は2%増加し、4億3,100万ポンドとなりました。現物株および株式デリバティブの減収によって一部相殺されたものの、株式資本調達からの収益が増加したためです。
 - － マクロの収益は低調な顧客取引活動および金利の厳しいトレーディング環境を反映し、14%減少し、4億2,400万ポンドとなりました。
- 営業費用合計は15%減少し、16億2,400万ポンドとなりました。人件費の減少、事業の再配置を含むTransformプログラムの費用削減効果、技術基盤および不動産インフラの持続的な合理化、Transform達成費用の2,200万ポンドへの減少(2013年度第4四半期:7,100万ポンド)を反映していますが、英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇により一部相殺されました。
- 税引前利益は3,500万ポンドに増加しました(2013年度第4四半期:1億3,700万ポンドの損失)。

事業部門別業績

2014 年度第 4 四半期と 2014 年度第 3 四半期の比較

- 収益合計は英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇の影響を含め、16 億 6,600 万ポンドと横ばいでした(2014 年度第 3 四半期:16 億 6,500 万ポンド)。
 - バンキング業務の収益は 17%増加し、6 億 3,800 万ポンドとなりました。インベストメント・バンキング手数料収入は引受手数料および財務アドバイザー手数料の増加を受けて 29%増加し、5 億 2,700 万ポンドとなりました。貸付収益はヘッジの公正価値損失を受けて 1 億 1,100 万ポンドに減少しました(2014 年度第 3 四半期:1 億 3,700 万ポンド)。
 - 市場業務の収益は 8%減少し、10 億 2,800 万ポンドとなりました。
 - クレジットの収益は証券化商品、ディストレス・クレジット、高格付け商品の減収により 32%減少し、1 億 7,300 万ポンドとなりました。
 - 株式の収益は現物株および株式デリバティブの顧客取引活動の増加を受け、9%増加し、4 億 3,100 万ポンドとなりました。
 - マクロの収益は顧客取引活動の低下および金利の厳しいトレーディング環境を反映し、10%減少し、4 億 2,400 万ポンドとなりました。
- 営業費用合計は 18%増加し、16 億 2,400 万ポンドとなりました。2 億 1,800 万ポンドの英国銀行税(2014 年度第 3 半期:ゼロポンド)、英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇、訴訟および特定行為に係る費用の増加を反映していますが、Transform 達成費用の 2,200 万ポンドへの減少(2014 年度第 3 四半期:7,000 万ポンド)により一部相殺されました。
- 税引前利益は 3,500 万ポンドに減少しました(2014 年度第 3 四半期:2 億 8,400 万ポンド)。

事業部門別業績

パークレイズ・ノンコア

損益計算書関連の情報	2014年12月31日に終了した年度 (百万ポンド)	2013年12月31日に終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
利息収入純額	214	307	(30)
手数料収入純額	466	383	22
トレーディング収益純額	120	1,327	(91)
投資収益純額	164	302	(46)
保険契約に基づく保険料収入純額	290	306	(5)
その他の収益／(損失)	106	(8)	
収益合計	1,360	2,617	(48)
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(310)	(324)	(4)
保険金控除後の収益合計	1,050	2,293	(54)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(168)	(900)	81
営業収益純額	882	1,393	(37)
営業費用	(1,708)	(2,198)	22
英国銀行税	(91)	(109)	17
Transform 達成費用	(212)	(538)	61
営業費用合計	(2,011)	(2,845)	29
その他の(費用)／収益純額	(51)	(110)	54
税引前損失	(1,180)	(1,562)	24
株主帰属損失	(1,085)	(1,890)	43

貸借対照表関連の情報	2014年12月31日現在 (億ポンド)	2013年12月31日現在 (億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	639	819
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	187	176
トレーディング・ポートフォリオ資産	159	307
デリバティブ金融資産	2,854	2,393
デリバティブ金融負債	2,771	2,283
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	493	1,047
資産合計	4,715	5,112
顧客預り金	216	293
リスク調整後資産	753	1,099

パフォーマンス指標	2014年12月31日	2013年12月31日
平均有形株主資本利益率 ²	(5.4%)	(9.6%)
平均割当有形株主資本(億ポンド)	132	168
平均株主資本利益率 ²	(4.1%)	(7.2%)
平均割当株主資本(億ポンド)	134	171
期末割当株主資本(億ポンド)	110	151

保険金控除後の収益合計の内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率(%)
事業部門	1,101	1,498	(27)
証券および貸付金	117	642	(82)
デリバティブ	(168)	153	
保険金控除後の収益合計	1,050	2,293	(54)

2014年度と2013年度の比較

- パークレイズ・ノンコア部門では2014年に特定の事業および証券の撤退と圧縮が順調に進み、税引前損失が24%減少して11億8,000万ポンドとなりました。これによりリスク調整後資産は346億ポンド減少しました。同部門は2014年5月8日に発表したグループ・ストラテジー・アップデートの削減目標達成に向けて大幅な進展を示しました。
- 保険金控除後の収益合計は54%減少し、10億5,000万ポンドとなりました。
 - 事業収益は旧来からのポートフォリオ資産の売却および圧縮と欧州リテール事業における販売商品の合理化を反映し、27%減少して11億100万ポンドとなりました。
 - 証券および貸付金の収益は82%減少し、1億1,700万ポンドとなりました。アラブ首長国連邦(UAE)のリテール・バンキング・ポートフォリオの売却益1億1,900万ポンドによって一部相殺されたものの、証券の積極的な圧縮やホールセール貸付ポートフォリオの公正価値評価損、前年度の特定の証券化商品における一過性の良好な市場動向が主因です。
 - デリバティブ収益は3億2,100万ポンド減少し、1億6,800万ポンドの損失となりました。これは取引された旧来からのデリバティブ・ポートフォリオの資金調達コスト、および前年度の一過性の公正価値評価益を反映しています。

1 2014年12月31日現在の貸付金には、顧客に対する貸付金516億ポンド(2013年:708億ポンド)(決済残高16億ポンド(2013年:26億ポンド)と現金担保221億ポンド(2013年:145億ポンド)を含む)、および銀行に対する貸付金123億ポンド(2013年:111億ポンド(決済残高3億ポンド(2013年:8億ポンド)と現金担保113億ポンド(2013年:95億ポンド)を含む)が含まれています。

2 パークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

事業部門別業績

- 信用に関する減損費用は 81%減少して 1 億 6,800 万ポンドとなりました。これは特定の顧客に対するエクスポージャーに係る前年度の一過性の費用、再生可能エネルギーセクターでのスペイン政府の補助金が確認されたことに伴うホールセール・ポートフォリオの減損戻入れ、モーゲージ・ポートフォリオの回収および延滞の改善を主因にした欧州のパフォーマンスの改善を反映しています。
- 営業費用合計は人員削減や発表済みの欧州リテール事業の再編を含む Transform プログラムの効果で 29%減少し、20 億 1,100 万ポンドとなりました。また、Transform 達成費用は 61%減少し、2 億 1,200 万ポンドとなりました。
- 銀行および顧客に対する貸付金は 22%減少し、639 億ポンドとなりました。これは売却目的で保有しているスペイン事業に関連する 129 億ポンドの貸付の再分類、および資産圧縮による欧州リテールの貸付金減少を反映しています。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は旧来からのポートフォリオ資産の売却、縮小によって 48%減少し、159 億ポンドとなりました。
- デリバティブ金融商品資産および負債は主要先渡金利の低下を受けて、それぞれ 19%増の 2,854 億ポンド、21%増の 2,771 億ポンドとなりました。
- 資産合計は 8%減少し、4,715 億ポンドとなりました。デリバティブ金融商品資産の増加によって一部相殺されたものの、リバース・レポ取引およびその他の類似の担保付貸出の減少、旧来からのポートフォリオ資産の圧縮によるトレーディング・ポートフォリオ資産の減少を反映しています。パーゼル銀行監督委員会 (BCBS) 270 レバレッジ・エクスポージャーは 2,770 億ポンドに減少しました。
- 事業の売却、証券および貸出の処分および縮小、デリバティブ・リスクの低減を反映し、リスク調整後資産は 346 億ポンド減の 753 億ポンド、期末の割当株主資本は 51 億ポンド減の 110 億ポンドとなりました。

2014 年度第 4 四半期と 2014 年度第 3 四半期の比較

- 保険金控除後の収益合計は 94%減少し、2,200 万ポンドとなりました。
 - 事業収益は公正価値調評価益の減少と撤退戦略の一環としての 2014 年度第 3 四半期の売却益を主因に 30%減少し、2 億 2,800 万ポンドとなりました。
 - 証券および貸付金の収益は前期の UAE のリテール・バンキング・ポートフォリオの一過性の売却益 1 億 1,900 万ポンドとホールセール貸付ポートフォリオの公正価値評価損を反映し、2 億 4,800 万ポンド減少して 1 億 4,200 万ポンドの損失となりました。
 - デリバティブ収益はコモディティ資産の売却益によって一部相殺されたものの、公正価値評価損の増加を反映し、2%減少して 6,400 万ポンドの損失となりました。
- 信用に関する減損費用は再生可能エネルギーセクターでのスペイン政府の補助金が確認されたことによる減損戻入れ、および欧州におけるパフォーマンスの改善を受け、1,500 万ポンド減少して 200 万ポンドとなりました。
- 営業費用合計は Transform 達成費用が 4,000 万ポンド(2014 年度第 3 四半期:1 億 3,000 万ポンド)に減少したことによって一部相殺されたものの、英国銀行税 9,100 万ポンド(2014 年度第 3 四半期:なし)を主因に 1,100 万ポンド増加し、5 億 4,400 万ポンドとなりました。
- 税引前損失は 3 億 7,500 万ポンド増加し、5 億 3,200 万ポンドとなりました。

四半期業績の要約

	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期	2013年度 第2四半期	2013年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パークレイズグループ四半期業績¹								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	6,018	6,378	6,682	6,650	6,639	6,445	7,078	7,734
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(573)	(509)	(538)	(548)	(718)	(722)	(925)	(706)
営業収益純額	5,445	5,869	6,144	6,102	5,921	5,723	6,153	7,028
営業費用	(3,942)	(3,879)	(4,042)	(4,130)	(4,500)	(4,223)	(4,282)	(4,734)
訴訟および特定行為	(140)	(98)	(146)	(65)	(277)	(39)	(77)	(48)
英国銀行税	(462)	-	-	-	(504)	-	-	-
Transform 達成費用	(339)	(332)	(254)	(240)	(468)	(101)	(126)	(514)
営業費用合計	(4,883)	(4,309)	(4,442)	(4,435)	(5,749)	(4,363)	(4,485)	(5,296)
その他の収益／(費用)純額	1	30	(46)	26	19	25	(122)	54
調整後税引前利益	563	1,590	1,656	1,693	191	1,385	1,546	1,786
調整項目								
当グループ自身の信用度に関連する利益	(62)	44	(67)	119	(95)	(211)	337	(251)
支払保障保険 (PPI) および金利ヘッジ商品に係る補償引当金繰入額	(200)	(10)	(900)	-	-	-	(2,000)	-
のれんの減損	-	-	-	-	(79)	-	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	461	-	-	-	-	259	-
当局による為替業務に関する進行中の調査に係る引当金繰入額	(750)	(500)	-	-	-	-	-	-
発表したスペイン事業の売却に係る損失	(82)	(364)	-	-	-	-	-	-
ESHLA ポートフォリオに係る評価の見直し	(935)	-	-	-	-	-	-	-
法定税引前(損失)／利益	(1,466)	1,221	689	1,812	17	1,174	142	1,535
法定税引後(損失)／利益	(1,381)	620	391	1,215	(514)	728	39	1,044
以下に帰属するもの:								
親会社の普通株主	(1,679)	379	161	965	(642)	511	(168)	839
その他の株主	80	80	41	49	-	-	-	-
非支配持分	218	161	189	201	128	217	207	205
調整後基本的1株当たり利益／(損失)	1.3 ^{ヘッス}	5.2 ^{ヘッス}	5.4 ^{ヘッス}	5.5 ^{ヘッス}	(2.8 ^{ヘッス})	5.4 ^{ヘッス}	6.2 ^{ヘッス}	7.5 ^{ヘッス}
収益に対する費用の調整後比率	81%	68%	66%	67%	87%	68%	63%	68%
基本的1株当たり利益	(10.2 ^{ヘッス})	2.4 ^{ヘッス}	1.0 ^{ヘッス}	6.0 ^{ヘッス}	(4.5 ^{ヘッス})	3.8 ^{ヘッス}	(1.2 ^{ヘッス})	6.3 ^{ヘッス}
収益に対する費用の比率	116%	70%	82%	66%	89%	70%	85%	71%
パークレイズ・コア¹								
保険金控除後の収益合計	5,996	6,008	6,397	6,277	6,189	6,076	6,514	6,824
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(571)	(492)	(456)	(481)	(542)	(554)	(558)	(517)
営業収益純額	5,425	5,516	5,941	5,796	5,647	5,522	5,956	6,307
営業費用	(3,614)	(3,557)	(3,602)	(3,710)	(4,045)	(3,758)	(3,802)	(4,204)
訴訟および特定行為	(56)	(16)	(136)	(43)	(69)	(18)	(51)	(35)
英国銀行税	(371)	-	-	-	(395)	-	-	-
Transform 達成費用	(298)	(202)	(237)	(216)	(365)	(84)	(64)	(158)
営業費用合計	(4,339)	(3,775)	(3,975)	(3,969)	(4,874)	(3,860)	(3,917)	(4,397)
その他の収益純額	9	6	27	20	15	15	13	43
税引前利益	1,095	1,747	1,993	1,847	788	1,677	2,052	1,953
パークレイズ・ノンコア								
保険金控除後の収益合計	22	370	285	373	450	368	564	911
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2)	(17)	(82)	(67)	(176)	(168)	(367)	(189)
営業収益純額	20	353	203	306	274	200	197	722
営業費用	(329)	(321)	(441)	(419)	(456)	(464)	(481)	(529)
訴訟および特定行為	(83)	(82)	(10)	(23)	(208)	(21)	(26)	(13)
英国銀行税	(91)	-	-	-	(109)	-	-	-
Transform 達成費用	(41)	(130)	(17)	(24)	(103)	(17)	(62)	(356)
営業費用合計	(544)	(533)	(468)	(466)	(876)	(502)	(569)	(898)
その他の(費用)／収益純額	(8)	23	(72)	6	4	10	(135)	11
税引前損失	(532)	(157)	(337)	(154)	(598)	(292)	(507)	(165)

¹ 当年度決算における重要性を勘案し、前年度との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの利益を除いて修正再表示されています。

四半期業績の要約

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング (PCB)	2014年度	2014年度	2014年度	2014年度	2013年度	2013年度	2013年度	2013年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パーソナル	1,045	1,061	1,027	1,026	1,037	1,033	1,018	952
コーポレート	922	902	889	879	866	956	911	887
ウェルス	264	273	272	268	263	263	263	274
収益合計	2,231	2,236	2,188	2,173	2,166	2,252	2,192	2,113
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(123)	(129)	(95)	(135)	(169)	(153)	(165)	(134)
営業収益純額	2,108	2,107	2,093	2,038	1,997	2,099	2,027	1,979
営業費用	(1,219)	(1,232)	(1,256)	(1,298)	(1,388)	(1,318)	(1,378)	(1,376)
英国銀行税	(70)	-	-	-	(66)	-	-	-
Transform 達成費用	(195)	(90)	(58)	(57)	(219)	(73)	(55)	(37)
営業費用合計	(1,484)	(1,322)	(1,314)	(1,355)	(1,673)	(1,391)	(1,433)	(1,413)
その他の収益純額	4	4	1	5	3	1	7	30
税引前利益	628	789	780	688	327	709	601	596
パークレイカード								
収益合計	1,109	1,123	1,082	1,042	1,034	1,050	1,030	989
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(362)	(284)	(268)	(269)	(266)	(290)	(272)	(268)
営業収益純額	747	839	814	773	768	760	758	721
営業費用	(456)	(449)	(420)	(402)	(457)	(455)	(424)	(450)
英国銀行税	(29)	-	-	-	(22)	-	-	-
Transform 達成費用	(50)	(32)	(23)	(13)	(38)	(6)	(5)	-
営業費用合計	(535)	(481)	(443)	(415)	(517)	(461)	(429)	(450)
その他の収益純額	1	4	25	10	5	12	7	9
税引前利益	213	362	396	368	256	311	336	280
アフリカ・バンキング								
保険金控除後の収益合計	963	928	895	878	980	1,004	1,016	1,039
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(79)	(74)	(100)	(96)	(104)	(101)	(131)	(143)
営業収益純額	884	854	795	782	876	903	885	896
営業費用	(591)	(573)	(545)	(537)	(616)	(605)	(597)	(633)
英国銀行税	(45)	-	-	-	(42)	-	-	-
Transform 達成費用	(23)	(11)	(8)	(9)	(15)	(2)	(9)	-
営業費用合計	(659)	(584)	(553)	(546)	(673)	(607)	(606)	(633)
その他の収益純額	3	2	2	4	-	3	4	1
税引前利益	228	272	244	240	203	299	283	264
インベストメント・バンク								
インベストメント・バンキング手数料	527	410	661	513	571	526	488	575
貸付	111	137	66	103	68	42	141	74
バンキング	638	547	727	616	639	568	629	649
クレジット	173	255	270	346	231	308	239	479
株式	431	395	629	591	421	524	750	602
マクロ	424	470	504	552	494	457	689	940
市場	1,028	1,120	1,403	1,489	1,146	1,289	1,678	2,021
バンキングおよび市場	1,666	1,667	2,130	2,105	1,785	1,857	2,307	2,670
その他	-	(2)	24	(2)	(3)	(6)	(7)	(7)
収益合計	1,666	1,665	2,154	2,103	1,782	1,851	2,300	2,663
信用に関する減損(費用)／戻入およびその他の引当金繰入額	(7)	(5)	7	19	(6)	(10)	10	28
営業収益純額	1,659	1,660	2,161	2,122	1,776	1,841	2,310	2,691
営業費用	(1,384)	(1,306)	(1,442)	(1,501)	(1,606)	(1,373)	(1,429)	(1,764)
英国銀行税	(218)	-	-	-	(236)	-	-	-
Transform 達成費用	(22)	(70)	(152)	(130)	(71)	(3)	-	(116)
営業費用合計	(1,624)	(1,376)	(1,594)	(1,631)	(1,913)	(1,376)	(1,429)	(1,880)
税引前利益／(損失)	35	284	567	491	(137)	465	881	811
本社								
収益／(費用)合計	27	56	78	81	227	(81)	(24)	20
信用に関する減損戻入	-	-	-	-	3	-	-	-
営業収益／(費用)純額	27	56	78	81	230	(81)	(24)	20
営業費用	(19)	(13)	(76)	(15)	(47)	(25)	(25)	(16)
英国銀行税	(9)	-	-	-	(29)	-	-	-
Transform 達成費用	(8)	-	5	(7)	(22)	-	5	(5)
営業費用合計	(36)	(13)	(71)	(22)	(98)	(25)	(20)	(21)
その他の(費用)／収益純額	-	(3)	(1)	1	7	(1)	(5)	3
税引前(損失)／利益	(9)	40	6	60	139	(107)	(49)	2

事業部門別のリターンおよび株主資本

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、当該期間の親会社の普通株主に帰属する利益(その他の持分商品に係るクーポンに関して剰余金として計上されている税額控除を調整)を当該期間の平均割当株主資本または平均割当有形株主資本(下記に記述しているアフリカ・バンキング以外の事業部門の非支配持分およびその他の株主持分を除く)で適宜除して算出されます。割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む改正資本要件指令完全施行ベースでの資本控除を調整した後、各事業部門の改正資本要件指令完全施行ベースのリスク調整後資産の10.5%として算出されます。当該期間の改正資本要件指令完全施行ベースの普通株式 Tier 1 資本比率が平均で10.5%を下回るによりグループ全体に割り当てられている過剰な資本は本社のマイナス資本として割り当てられます。割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

アフリカ・バンキングの平均株主資本利益率の計算で使用されている株主資本は、(依然としてパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に属していないパークレイズのエジプトおよびジンバブエ事業の持分と併せた)パークレイズの BAGL 法定持分およびこれらの事業の買収に伴うパークレイズののれんです。有形株主資本利益率の有形株主資本も同じベースで計算されていますが、買収に伴うパークレイズののれんと BAGL 法定資本に含まれるのれんおよび無形資産は除外されます。

	2014年12月31日に 終了した年度	2013年12月31日に 終了した年度 ¹
平均株主資本利益率	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	11.9	9.7
パークレイカード	16.0	15.5
アフリカ・バンキング	9.3	8.1
インベストメント・バンク	2.7	8.2
パークレイズ・コア(本社を除く)	8.9	9.7
本社の影響 ²	0.3	1.6
パークレイズ・コア	9.2	11.3
パークレイズ・ノンコアの影響 ²	(4.1)	(7.2)
調整後パークレイズ・グループ合計	5.1	4.1

	2014年12月31日に 終了した年度	2013年12月31日に 終了した年度
平均有形株主資本利益率	%	%
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	15.8	12.7
パークレイカード	19.9	19.9
アフリカ・バンキング	12.9	11.3
インベストメント・バンク	2.8	8.5
パークレイズ・コア(本社を除く)	10.8	11.6
本社の影響 ²	0.5	2.8
パークレイズ・コア	11.3	14.4
パークレイズ・ノンコアの影響 ²	(5.4)	(9.6)
調整後パークレイズ・グループ合計	5.9	4.8

1 当年度決算における重要性を勘案し、前年度との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未だ回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの利益を除いて修正再表示されています。

2 本社およびパークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、それぞれパークレイズ・コア部門と当グループへの影響を示しています。本社およびノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

業績管理

	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2013年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
親会社の普通株主に帰属する利益/(損失)²		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	2,075	1,681
パークレイカード	943	822
アフリカ・バンキング	360	356
インベストメント・バンク	415	1,308
本社	112	(89)
パークレイズ・コア	3,905	4,078
パークレイズ・ノンコア	(1,072)	(1,890)
調整後パークレイズ・グループ合計	2,833	2,188
	2014年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)	2013年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
平均割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	175	173
パークレイカード	59	53
アフリカ・バンキング	39	44
インベストメント・バンク	154	159
本社 ³	(4)	(70)
パークレイズ・コア	423	359
パークレイズ・ノンコア	134	171
調整後パークレイズ・グループ合計	557	530
	2014年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)	2013年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
平均有形株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	131	132
パークレイカード	47	41
アフリカ・バンキング	28	32
インベストメント・バンク	146	153
本社 ³	(6)	(74)
パークレイズ・コア	346	284
パークレイズ・ノンコア	132	168
調整後パークレイズ・グループ合計	478	452
	2014年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)	2013年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
期末割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	179	173
パークレイカード	62	54
アフリカ・バンキング	40	38
インベストメント・バンク	147	146
本社 ³	21	(21)
パークレイズ・コア	449	390
パークレイズ・ノンコア	110	151
調整後パークレイズ・グループ合計	559	541

1 当年度決算における重要性を勘案し、前年度との比較可能性を高めるため、2013年度の調整後収益および税引前利益は、米国リーマンの買収から未回収されていない資産に関連する2013年度第2四半期の2億5,900万ポンドの利益を除いて修正再表示されています。

2 その他の株主に帰属する税引後利益2億5,000万ポンド(2013年:ゼロポンド)は、全事業に割り当てられ、剰余金に計上されている税額控除5,400万ポンド(2013年:ゼロポンド)によって相殺されています。相殺後残高である1億9,600万ポンドは、非支配持分(NCI)とともに、平均有形株主資本利益率および平均株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。従って、2014年度の帰属利益27億7,900万ポンドは、剰余金に計上されている税額控除5,400万ポンド(2013年:ゼロポンド)が調整されています。

3 本社のリスク調整後資産と資本控除ならびに普通株主資本と有形普通株主資本の残存残高を含みます。

利ざやおよび残高

	2014年12月31日に終了した年度			2013年12月31日に終了した年度		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	6,298	210,026	3.00	5,893	202,497	2.91
パークレイカード	3,044	34,776	8.75	2,829	31,459	8.99
アフリカ・バンキング	2,093	35,153	5.95	2,245	38,640	5.81
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング (PCB)、パークレイカードおよびアフリカ・バンキ ングの合計	11,435	279,955	4.08	10,967	272,596	4.02
インベストメント・バンク	647			393		
本社	(216)			(67)		
パークレイズ・コア	11,866			11,293		
パークレイズ・ノンコア	214			307		
利息収入純額合計	12,080			11,600		

- パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの利息収入純額合計は以下の要因を反映し、4%増加して114億ポンドとなりました。
 - 英ポンドに対する南アフリカランド下落を背景にしたアフリカ・バンキングの減少によって一部相殺されたものの、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキングのモーゲージ事業とパークレイカードが伸びたことで平均顧客資産は2,800億ポンド(2013年:2,726億ポンド)に増加しました。
 - 純利ざやは6ペーシス・ポイント上昇して4.08%となりました。プロモーション活動と商品構成の変化の影響によるパークレイカードの利ざや低下で一部相殺されたものの、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキングと南アフリカの基準金利引き上げを受けたアフリカ・バンキングの預金利ざやの上昇およびその好影響を主に反映しています。
- 構造的ヘッジの寄与16億ポンド(2013年:16億ポンド)を含むグループの利息収入純額は121億ポンド(2013年:116億ポンド)に増加しました。株式の構造的ヘッジ収益は加重平均されたヘッジ期間が延びたことにより増加しましたが、低金利環境が継続する状況下でヘッジを維持したことによる商品の構造的ヘッジ収益の減少で一部相殺されました。

PCB、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの四半期分析

	2014年12月31日に終了した四半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	1,619	212,444	3.02
パークレイカード	757	36,932	8.13
アフリカ・バンキング	546	36,465	5.94
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよび アフリカ・バンキングの合計	2,922	285,841	4.06
	2014年9月30日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	1,622	210,859	3.05
パークレイカード	787	35,308	8.84
アフリカ・バンキング	540	35,026	6.12
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよび アフリカ・バンキングの合計	2,949	281,193	4.16
	2014年6月30日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	1,529	209,040	2.93
パークレイカード	754	33,904	8.92
アフリカ・バンキング	504	34,660	5.83
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよび アフリカ・バンキングの合計	2,787	277,604	4.03
	2014年3月31日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	1,528	207,433	2.99
パークレイカード	746	32,911	9.19
アフリカ・バンキング	503	34,488	5.91
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよび アフリカ・バンキングの合計	2,777	274,832	4.10

業績管理

報酬

繰延賞与は従業員が特定期間の勤務を含む一定の状況を満たした場合に限り支払われます。このため、賞与プールの通知と損益計算書上の計上額との間に期間差異が生じ、パフォーマンス・コストの計上額を示した下表の調整が行われます。下表は報酬コストと人件費のその他の項目も示しています。

	パークレイズ・グループ			インベストメント・バンク ¹		
	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
当期賞与						
当期現金賞与	885	957	8	381	411	7
当期株式賞与	757	1,140	34	634	921	31
販売コミッション、コミットメントおよび その他の報奨	218	281	22	38	46	17
当期賞与合計	1,860	2,378	22	1,053	1,378	24
報奨付与合計額から損益計算書計上額への 調整						
控除: 2014年の繰延賞与額	(757)	(1,140)	34	(634)	(921)	31
加算: 過年度からの繰延賞与の当期費用 計上額	1,067	1,147	7	854	933	8
その他 ²	(108)	169		12	99	88
報奨付与合計	2,062	2,554	19	1,285	1,489	14
その他の収益:						
給与 ³	4,998	4,981	-	1,749	1,787	2
社会保障費	659	715	8	268	294	9
退職後給付	624	688	9	120	151	21
手当およびトレーディング報奨	170	211	19	64	86	26
その他の報酬コスト	378	467	19	134	171	22
報奨付与合計⁴	8,891	9,616	8	3,620	3,978	9
その他人件費⁵	2,114	2,539	17	466	530	12
人件費合計	11,005	12,155	9	4,086	4,508	9
調整後収益純額に対する報酬比率	37.7%	38.7%		47.6%	46.2%	
調整後収益に対する報酬比率	34.6%	34.5%		47.7%	46.3%	

報酬に関する詳細は英語版年次報告書の77-110ページにある報酬に関する報告をご参照ください。

1 インベストメント・バンクのその他の報酬コストには、本社からの割当のほか、インベストメント・バンクで発生しその他の事業で費用計上された報酬コストと、その他の事業で発生しインベストメント・バンクで費用計上された報酬コストに関する再費用計上純額が含まれています。

2 報奨付与額と、販売コミッション、コミットメントおよびその他長期報奨に係る損益計算書計上額との差異。

3 給与は固定支払部分と役職に基づいた支払額を含んでいます。

4 加えて、社内作成ソフトウェアとして2億5,000万ポンド(2013年:3億4,600万ポンド)のグループ報酬が資産計上されました。

5 その他人件費には、外注、余剰人員の整理および事業再編、その他臨時雇用者の費用が含まれています。

業績管理

繰延賞与が付与されてきており、下表に示される年度において損益計算書に計上されることが予想されています。

損益計算書にこれまで付与されてきた繰延賞与の費用計上が予想される年度¹

	実績		予想 ²	
	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2015年 12月31日に 終了する年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了する年度以降 (百万ポンド)
パークレイズ・グループ				
2011年からの繰延賞与およびそれ以前の賞与プール	621	202	18	-
2012年からの繰延賞与プール	526	286	106	15
2013年からの繰延賞与プール	-	579	294	145
2014年からの繰延賞与プール	-	-	421	304
損益計算書に反映された繰延賞与	1,147	1,067	839	464
インベストメント・バンク				
2011年からの繰延賞与およびそれ以前の賞与プール	480	172	15	-
2012年からの繰延賞与プール	453	226	84	12
2013年からの繰延賞与プール	-	456	232	113
2014年からの繰延賞与プール	-	-	362	249
損益計算書に反映された繰延賞与	933	854	693	374

¹ 実際の計上額は条件が満たされているか否かに影響され、上記の予想とは異なります。

² 2015年と2016年に実施される可能性がある将来的な付与の影響を含みません。

資金調達リスクー流動性

当グループは、流動性リスクを管理するための包括的なフレームワークを備えていますが、パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別個に管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報は BAGL を除外しており、BAGL については独立的に報告がなされています。現地での要件を満たすため、BAGL の流動性リスクはパークレイズ・グループと一貫したベースで管理されています。

流動性ストレス・テスト

当グループは、内部で設定した流動性リスク選好度(LRA)、プルーデンス規制機構(PRA)が提示した個別流動性ガイダンス(ILG)などの規制基準、および CRD IV の流動性カバレッジ比率(LCR)に対する流動性ポジションを管理しています。2014年12月31日現在、当グループはパークレイズ固有の LRA と LCR それぞれのストレス時の 30 日間の資金流出純額の 100%を上回る適格流動性資産を保有しています。

内部設定および規制に則ったストレス・テスト	パークレイズの LRA (30 日間のパークレイズの 固有シナリオの必要額) ¹ (億ポンド)	CRD IV の LCR 見積もり (億ポンド)
適格流動性バッファ	1,490	1,530
ストレス時の資金流出純額	(1,200)	(1,230)
余剰流動性	290	300
2014年12月31日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	124%	124%
2013年12月31日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	104%	96%

当グループは当期間に内部および規制上のストレス要件に対してより高水準の余剰流動性を構築し、流動性ポジションを強化しました。格付け機関はパークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用格付けの評価に政府支援を織り込んでいるため、こうした流動性ポジションは、潜在的な格付けの変更にも対応できています。

パークレイズは市場の資金調達状況や当グループの流動性ポジションのリスクを考慮しつつ、内部設定および規制上のストレス要件に対する余剰流動性を効率的な水準に維持する予定です。こうしたリスクを継続的に再評価することで、余剰流動性の規模の適正化への適切な対応が可能となります。

パークレイズは 2014 年 10 月にバーゼル銀行監督委員会が公表した最終的な基準に基づいて、安定調達比率(NSFR)を 102%(2013年:94%)と推定しました。

¹ LRA の一環としてモニターされている 3 つのストレス・シナリオのうち、30 日間のパークレイズ固有シナリオの下での比率は最も低い 124%となります(2013年:104%)。これに対し 90 日間の市場全体シナリオの下での比率は 135%(2013年:127%)、30 日間の複合シナリオの下での比率は 127%(2013年:112%)となります。

資金調達リスクー流動性

余剰流動性

	余剰流動性		余剰流動性のうち		余剰流動性 2013年12月 31日現在 (億ポンド)
	2014年12月 31日現在 (億ポンド)	余剰流動性 のうち PRA 適格分 ¹ (億ポンド)	CRD IV の LCR 適格分 ²		
			レベル 1 (億ポンド)	レベル 2A (億ポンド)	
2014年12月31日現在					
現金および中央銀行預け金 ³	370	360	340	20	430
国債⁴					
AAA 格	730	720	730	-	520
AA+格から AA- 格	120	110	120	-	90
その他の国債	-	-	-	-	10
国債合計	850	830	850	-	620
その他					
国際機関債および国際開発銀行	90	30	90	-	30
政府機関および政府機関不動産担保証券	110	-	50	50	100
カバード・ボンド(AA-格以上)	30	-	30	-	60
その他	40	-	-	-	30
その他合計	270	30	170	50	220
2014年12月31日現在合計	1,490	1,220	1,360	70	
2013年12月31日現在合計	1,270	1,040	1,090	110	

当年度末の当グループの余剰流動性は 1,490 億ポンド(2013 年:1,270 億ポンド)でした。2014 年において、各月末時点の余剰流動性は 1,340 億ポンドから 1,560 億ポンド(2013 年:1,270 億ポンドから 1,570 億ポンド)の範囲で推移し、月末平均残高は 1,450 億ポンドでした(2013 年:1,440 億ポンド)。余剰流動性は担保に供されていない資産で、支払や決済要件の裏付けとして使用されるものではありません。

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。2014 年 12 月 31 日現在、余剰流動性の 92%はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在(2013 年:90%)し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク(BCI)内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は各事業体固有のストレスによる資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

預金による調達

顧客向け貸付金の調達(BAGLを含む)	2014年12月31日現在			2013年 12月31日現在	
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 %	預貸率 %	
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)	2,170	2,990			
パークレイカード	370	70			
アフリカ・バンキング	350	350			
ノンコア(リテール)	200	80			
資金調達合計	3,090	3,490	89%	91	
インベストメント・バンク、ノンコア(ホールセール)および その他	1,190	790			
合計	4,280	4,280	100%	101	

PCB、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア(リテール)は概ね顧客預り金によって資金調達しています。これらの事業の預貸率は 89%でした(2013 年:91%)。貸付金を上回る顧客預り金は、主にこれらの事業の流動性バッファとして利用されています。インベストメント・バンク部門はホールセール負債から調達しており、これらの事業からの顧客預り金からの調達に依存していません。グループ全体の預貸率は 100%(2013 年:101%)と概ね変わりませんでした。

2014 年 12 月 31 日現在で、顧客預り金合計 1,280 億ポンド(2013 年:1,220 億ポンド)が英国金融サービス補償スキームその他の類似スキームで保証されています。これらの顧客預り金に加え、その他の負債 40 億ポンド(2013 年:30 億ポンド)が政府によって付保又は保証されています。

- 1 余剰流動性 1,220 億ポンド(2013 年:1,040 億ポンド)は、BIPRU(銀行、ビルディング・ソサエティ、投資会社のためのブルデンシャル・ハンドブック)12.7 項に規定されている PRA(ブルーデンス(健全性)規制機構)要件を満たすものです。更に PRA の 2013 年 8 月の発表によれば、PRA がレベル 2 資産として特定した一部の資産は、経過措置として利用することができます。このようなレベル 2 資産を 120 億ポンド(2013 年:90 億ポンド)保有しています。
- 2 本表に表示されている流動性カバレッジ比率(LCR)適格資産は当グループの余剰流動性に適格な資産のみを示しており、CRD IV によって定義されるレベル 2B 資産は含まれていません。
- 3 現金および中央銀行預け金の 95%超(2013 年:95%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。
- 4 国債の 95%超(2013 年:85%超)は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイスおよびオランダの債券です。

資金調達リスクー流動性

ホールセール調達

ホールセール調達の構成

ホールセールの資金調達残高合計(レポ取引を除く)は、1,710 億ポンド(2013 年:1,860 億ポンド)でした。うち、750 億ポンド(2013 年:820 億ポンド)は 1 年未満で満期を迎え、220 億ポンド²(2013 年:230 億ポンド)はターム・ファンディングに関連しています。

ホールセールの資金調達残高のうち、330 億ポンド(2013 年:350 億ポンド)は担保付資金調達、1,380 億ポンド(2013 年:1,510 億ポンド)は無担保資金調達でした。

シングル・ポイント・オブ・エントリー(SPOE)破綻処理モデルに備えて、パークレイズは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーによる負債性資本の発行およびターム優先無担保資金調達を開始しました。当グループはパークレイズ・ピーエルシーによる大半の負債性資本およびターム優先無担保資金調達を徐々に借り換えていきます。

期間別 ホールセール調達 ¹	1 ヵ月		9-12 ヵ月			1 年		5 年		合計
	未満 (億ポンド)	1-3 ヵ月 (億ポンド)	3-6 ヵ月 (億ポンド)	6-9 ヵ月 (億ポンド)	10-12 ヵ月 (億ポンド)	未満 (億ポンド)	1-2 年 (億ポンド)	2-5 年 (億ポンド)	以上 (億ポンド)	
パークレイズ・ピーエルシー										
無担保シニア債(公募)	-	-	-	-	-	-	-	13	8	21
劣後調達	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
パークレイズ・バンク・ピーエルシー										
銀行からの預かり金	92	57	9	5	3	166	2	1	2	171
譲渡性預金およびコマースナル・ペーパー	8	56	78	60	40	242	6	20	6	274
資産担保コマースナル・ペーパー	10	44	2	-	-	56	-	-	-	56
優先無担保債(公募)	-	20	7	11	-	38	27	79	51	195
優先無担保債(私募) ³	6	18	33	38	20	115	72	133	126	446
転換社債/資産担保証券	27	20	7	16	2	72	22	75	60	229
劣後調達	-	1	-	-	-	1	-	29	167	197
その他 ⁴	25	16	8	5	10	64	11	16	26	117
2014 年 12 月 31 日現在合計	168	232	144	135	75	754	140	366	454	1,714
担保付	53	78	17	19	3	170	27	76	60	333
無担保	115	154	127	116	72	584	113	290	394	1,381
2013 年 12 月 31 日現在合計	203	240	155	159	63	820	271	338	426	1,855
担保付	46	37	14	35	7	139	73	65	72	349
無担保	157	203	141	124	56	681	198	273	354	1,506

ホールセールの資金調達残高には 450 億ポンド(2013 年:500 億ポンド)の私募優先無担保債が含まれています。これらの債券は仲介業者およびプライベート・バンクを含む各種販路を通じて発行されています。必要条件ではありませんが、余剰流動性は 1 年未満に満期を迎えるホールセール資金調達を 740 億ポンド(2013 年:450 億ポンド)上回りました。

余剰流動性を控除後のホールセールの資金調達純額の平均満期は少なくとも 105 ヶ月(2013 年:69 ヶ月)でした。

ターム資金調達

当グループは 2014 年の期限前償還を控除後の純額で 150 億ポンド(2013 年:10 億ポンド)のターム資金調達を実施しました。さらに、イングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を通じ、60 億ポンドを調達しました。パークレイズでは、2015 年度中に 230 億ポンド、2016 年度中に 130 億ポンドのターム資金調達が満期を迎えます⁵。

種類、通貨、販路の多様性を備えた安定した資金調達基盤を維持するため、2015 年度に公募ホールセール債券を更に発行する方針です。

信用格付け

現在、パークレイズを含む大半の金融機関の信用格付けには、各国政府が金融システムにとって重要な銀行を破綻させないように支援するこれまでの傾向を反映させるため、ソブリン・サポート相当分のノッチが含まれています。規制の進展に伴い、各格付け機関は徐々にこのサポート分の一部または全部を撤廃する意思を明らかにしてきました。

この意図に沿って、スタンダード&プアーズ(S&P)は 2015 年 2 月 3 日、パークレイズの持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーを含む一部英国およびスイスの銀行純粋持株会社の格付けから政府支援ノッチを撤廃しました。この結果、パークレイズ・ピーエルシーの格付けは BBB/A-2 に 2 ノッチ引き下げられ、格付け見通しは「安定的(stable)」となりました。この格下げはパークレイズの優先債権者に対する特別の政府支援の可能性が低下したとの S&P の見解を反映したものです。また、S&P はパークレイズ・バンク・ピーエルシー(A/A-1)および子会社、支店、顧客関係のカウンターパーティーを含む大半の英国、ドイツ、オーストリアの銀行業務会社の長期および短期格付けを「格下げ方向のクレジット・ウォッチ(CWN)」に指定しました。S&P が規制による「ペイルイン」の強制が実際に銀行業務会社にどのように運用されるのかについて評価を行っているためです。

1 ホールセール資金調達の構成は貸借対照表に記載された銀行預り金、公正価値で測定された金融負債、発行債券および現金担保と決済残高を除く劣後負債で成っており、イングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を含む担保スワップは含まれていません。銀行預り金には欧州中央銀行(ECB)の期間 3 年の流動性供給オペ(LTRO)による負債 10 億ポンドが含まれています。

2 ターム資金調達の満期は公募指標および私募優先無担保債、カバード・ボンド/資産担保証券(ABS)および商品の当初満期が 1 年超の劣後負債で成っています。

3 ストラクチャード・ノート 350 億ポンドを含み、うち 90 億ポンドは 1 年以内に満期を迎えます。

4 主として公正価値で測定した預り金 50 億ポンドおよび現物金担保付資金調達 50 億ポンドから成っています。

5 2015 年のバイラテラル担保付資金調達 10 億ポンド、2016 年の 10 億ポンドを含みます。

資金調達リスクー資本

CRD IV 資本

欧州連合 (EU) は 2014 年 1 月 1 日、自己資本規制 (CRR) および改正資本要件指令 (CRD IV と総称されます) の下でパーゼル 3 の実施を開始しました。これらの規制は経過措置ルールの実施を含む、規制上の実務基準およびプルードンス (健全性) 規制機構 (PRA) の規則集により補完されます。しかしながら、CRD IV の一部の要素は欧州銀行監督機構 (EBA) が公表し、欧州委員会および PRA が適用する予定の最終的な実務上の基準と明確化によって左右されるため、ルールおよびガイダンスは依然変更される可能性があります。自己資本、リスク調整後資産およびレバレッジの算出はすべてパークレイズによる現行ルールの解釈を反映したものです。

資本比率	2014 年 12 月 31 日現在	2014 年 9 月 30 日現在	2013 年 12 月 31 日現在
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1)	10.3%	10.2%	9.1%
PRA 経過措置ルールに基づく普通株式 Tier 1 ^{1,2}	10.2%	10.0%	9.1%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 ^{2,3}	13.0%	12.9%	11.3%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計 ^{2,3}	16.5%	16.4%	15.0%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の株主資本 (非支配持分を除く)	59,567	59,571	55,385
(控除) その他の持分商品 (AT1 資本として認識)	(4,322)	(4,317)	(2,063)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(615)	(787)	(640)
少数株主持分 (連結普通株式 Tier 1 として認められるもの)	1,227	1,182	1,238
その他規制上の調整および控除:			
追加的評価調整 (PVA)	(2,199)	(2,641)	(2,479)
のれんおよび無形資産	(8,127)	(7,953)	(7,618)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(1,080)	(945)	(1,045)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(1,814)	(617)	(270)
減損を上回る予想損失額	(1,772)	(1,914)	(2,106)
当グループ自体の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	658	581	600
その他規制上の調整	(45)	(88)	(119)
当グループが発行した普通株式 Tier 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(25)	(27)	(496)
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 資本	41,453	42,045	40,387
未実現利益に係る規制上の調整	(583)	(604)	(180)
PRA 経過措置ルールに基づく普通株式 Tier 1 資本	40,870	41,441	40,207
追加的 Tier 1 (AT1) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	4,322	4,317	2,063
子会社が発行した AT1 資本 (少数株主持分を含む)	6,870	7,549	9,726
控除: 段階的廃止の対象となる子会社が発行した金融商品	-	(106)	(1,849)
その他規制上の調整および控除	-	(6)	-
暫定追加的 Tier 1 資本	11,192	11,754	9,940
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 資本	52,062	53,195	50,147
Tier 2 (T2) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	800	771	-
子会社が発行した T2 資本 (少数株主持分を含む)	13,529	13,856	16,834
控除: 段階的廃止の対象となる子会社が発行した金融商品	-	-	(522)
その他規制上の調整および控除	(48)	(93)	(12)
PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計	66,343	67,729	66,447
リスク調整後資産	401,900	412,892	442,471

1 496 億ポンドの移行ベース CRD IV CET1 資本と 4,020 億ポンドのリスク調整後資産に基づく、パークレイズの Tier 2 コンテンジエンス・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET1 比率 (FSA による 2012 年 10 月の暫定発表) は 12.3% でした。

2 PRA 経過措置ルールによる自己資本は 2013 年 12 月に公表された自己資本規制強化に関する PRA の方針 [PS7/13] に定められた指針に基づいています。

3 2014 年 12 月 31 日現在、パークレイズの完全施行ベースの Tier 1 自己資本は 460 億 2,000 万ポンド、完全施行ベースの Tier 1 自己資本比率は 11.5% でした。完全施行ベースの規制上の自己資本総額は 617 億 6,300 万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は 15.4% でした。完全施行ベースの Tier 1 自己資本および自己資本総額の数値は、CRD IV が定めた経過規定を適用せず、また、CRD IV の関連基準に対する追加的 Tier 1 (AT1) および Tier 2 (T2) 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。

資金調達リスクー資本

(完全施行ベース) 普通株式 Tier 1 (CET1) 資本の変動

	2014年 12月31日に 終了した3ヶ月 (百万ポンド)	2014年 12月31日に 終了した1年 (百万ポンド)
普通株式 Tier 1 資本の期首残高	42,045	40,387
当期純(損益)／利益	(1,599)	76
当グループ自身の信用度に係る変動	77	58
配当金の変動	(55)	(1,228)
利益から生じた規制上の留保資本	(1,577)	(1,094)
剰余金の変動-株式報奨の正味影響額	171	706
売却可能投資再評価差額の変動	(24)	414
為替換算再評価差額の変動	718	560
退職給付の変動	(145)	205
その他の剰余金の変動	(100)	(329)
その他の適格剰余金の変動	620	1,556
少数株主持分	45	(11)
追加的評価調整(PVA)	442	280
のれんおよび無形資産	(174)	(509)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(135)	(35)
予想損失の減損超過額	142	334
当グループが発行した普通株式 Tier 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	2	471
その他規制上の調整	43	74
規制上の調整およびその他控除項目の増減:	365	604
普通株式 Tier 1 資本の期末残高	41,453	41,453

- 完全施行ベースの CRD IV の普通株式 Tier 1 比率は、普通株式 Tier 1 自己資本が 33 億ポンドの調整項目を吸収した後 11 億ポンド増加し 415 億ポンドとなったことと、リスク調整後資産が 406 億ポンド減少し 4,019 億ポンドになったことを反映して、期中に 10.3%(2013 年:9.1%)と大幅に上昇しました。この改善は当グループの戦略実行における進展および 2016 年までに普通株式 Tier 1 比率 11%超を達成するという Transform 達成に向け、前進していることを反映したものです。2015 年 1 月 2 日に完了したスペイン事業の売却を含めると、2014 年 12 月 31 日現在の完全施行ベースの CRD IV の普通株式 Tier 1 比率は 10.5%に上昇します。
- 普通株式 Tier 1 資本の重要な変動は以下の通りです。
 - 支払配当金および予定配当金の減少額 12 億ポンドの認識
 - 米ドルに対する英ポンド上昇を主因とした、為替換算再評価差益による増加額 6 億ポンド
 - 売却可能投資再評価差額における利益による増加額 4 億ポンド
- 規制上の調整および控除の縮小によって 6 億ポンド増加しましたが、これは自社普通株式 Tier1 商品保有について 5 億ポンド、予想損失の減損超過額について 3 億ポンド、PVA について 3 億ポンドの控除が減少し、これらのをれんおよび無形資産について 5 億ポンドの控除の増加があったことによって一部相殺したものです。追加的評価調整(PVA)の減少は主に教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)にかかるポートフォリオの貸借対照表上の評価調整による 9 億ポンドによるものです。
- 経過措置ルールに基づく自己資本総額は、非累積的コーラブル優先株式 10 億ユーロおよびコーラブル固定金利／変動金利劣後ノート 10 億ユーロ(Tier 2 自己資本)の資本償還を主たる要因に 1 億ポンド減少し、663 億ポンドとなりました。この減少は、完全施行ベースの普通株式 Tier 1 資本の増加および固定金利劣後ノート 12 億 5,000 万ポンドの Tier 2 資本発行によって相殺されました。

資金調達リスクー資本

リスクの種類および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク		カウンターパーティー 信用リスク ¹		市場リスク ²		オペレーショ ナルリスク	リスク調整後 資産合計
	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付手法 (百万ポンド)	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付手法 (百万ポンド)	標準的手法 (百万ポンド)	内部モデル方式 (百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2014年12月31日現在								
パーソナル・アンド・ コーポレート・バンキング	32,657	70,080	238	1,049	26	-	16,176	120,226
パークレイカード	15,910	18,492	-	-	-	-	5,505	39,907
アフリカ・バンキング	9,015	21,794	10	562	948	588	5,604	38,521
インベストメント・バンク	5,773	36,829	13,739	11,781	18,179	16,480	19,621	122,402
本社	506	2,912	234	62	7	521	1,326	5,568
コア合計	63,861	150,107	14,221	13,454	19,160	17,589	48,232	326,624
パークレイズ・ノンコア	10,679	19,416	3,023	18,406	2,236	13,088	8,428	75,276
リスク調整後資産合計	74,540	169,523	17,244	31,860	21,396	30,677	56,660	401,900

2013年12月31日現在

パーソナル・アンド・ コーポレート・バンキング	30,750	71,635	174	649	57	-	15,020	118,285
パークレイカード	14,357	15,676	-	-	-	-	5,627	35,660
アフリカ・バンキング	7,435	21,807	9	529	494	935	6,837	38,046
インベストメント・バンク	3,681	33,215	11,200	19,511	21,756	16,921	18,096	124,380
本社	251	7,760	411	1,747	3,612	1,356	1,089	16,226
コア合計	56,474	150,093	11,794	22,436	25,919	19,212	46,669	332,597
パークレイズ・ノンコア	19,120	29,677	5,152	20,709	7,819	19,755	7,642	109,874
リスク調整後資産合計	75,594	179,770	16,946	43,145	33,738	38,967	54,311	442,471

リスク調整後資産の変動の内訳

	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティー 信用リスク ¹ (億ポンド)	市場リスク ² (億ポンド)	オペレーショ ナル リスク (億ポンド)	リスク調整後 資産合計 (億ポンド)
2014年1月1日現在	2,554	601	727	543	4,425
簿価	144	(160)	(158)	-	(174)
買収および売却	(129)	(3)	(13)	-	(145)
簿価の質	(44)	(21)	12	-	(53)
モデルの更新	60	35	(10)	34	119
手法および方針	(106)	13	(36)	-	(129)
外国為替	(5)	-	-	(10)	(15)
その他	(34)	26	(1)	-	(9)
2014年12月31日現在	2,440	491	521	567	4,019

- リスク調整後資産は406億ポンド減少して4,019億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。
 - 簿価の174億ポンド減少。主因はインベストメント・バンクおよびノンコア部門内のトレーディング・ブックのリスク削減で、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)およびパークレイカード部門の顧客に対する貸付金の増加により部分的に相殺。
 - 買収および売却の145億ポンド減少。主因はノンコア部門の資産売却。2015年1月2日に完了したスペイン事業売却によりリスク調整後資産はさらに50億ポンド減少することとなる。
 - 簿価の質の53億ポンド減少。主因はインベストメント・バンクおよびPCB部門のエクスポーザーのリスク特性の改善。
 - モデルの更新の119億ポンド増加。主因はカウンターパーティー・デフォルト確率を評価するための改訂信用リスク・モデルの実施。
 - 手法および方針の129億ポンド減少。主因は質の高い流動性資産の扱いの規制上の変更。
 - 外国為替の変動の15億ポンド減少。主因は英ポンドに対する南アフリカランドとユーロの下落で、英ポンドに対する米ドルの上昇がこれを一部相殺。

1 デフォルト・ファンド拠出金に係るリスク調整後資産はカウンターパーティー信用リスクに含まれています。

2 CVAに係るリスク調整後資産は市場リスクに含まれています。

3 外国為替の変動はカウンターパーティー信用リスクあるいは市場リスクの変動を含みません。

資金調達リスクー資本

レバレッジ比率要件

以下のレバレッジ・エクスポージャーは PRA の改訂スーパーバイザリー・ステートメント「SS3/13」に従って作成されています。「SS3/13」はエクスポージャー数値を BCBS 270 ベースで算出すること、およびパークレイズが 3%のエンド・ポイント Tier 1 レバレッジ比率を達成することを求めています。

バーゼル委員会は 2014 年 1 月にバーゼル 3 レバレッジ比率算出の改訂基準(BCBS 270)を最終決定しました。欧州委員会は 2015 年 1 月に発効した委任法令によりこの改訂を自己資本規制に取り入れ実施しています。パークレイズは BCBS 270 レバレッジ比率と同委任法令に従って算出されるレバレッジ比率の間に重要な相違があるとは考えていません。

2014 年 12 月 31 日現在、パークレイズの BCBS 270 レバレッジ比率は 3.7%でした。これは金融監督委員会(FPC)がその概略を示した完全施行ベースの予想最低要件に沿った水準です。

BCBS 270 レバレッジ比率

	2014 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)	2014 年 9 月 30 日現在 (億ポンド)	2014 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)
レバレッジ・エクスポージャー			
会計上の資産			
デリバティブ金融商品	4,400	3,830	3,330
現金担保	730	600	600
リバース・レポ取引	1,320	1,580	1,720
貸付金およびその他の資産	7,130	7,650	7,500
IFRS 資産合計	13,580	13,660	13,150
規制上の連結調整	(80)	(80)	(80)
デリバティブに係る調整			
デリバティブのネットティング	(3,950)	(3,450)	(2,980)
現金担保に係る調整	(530)	(420)	(310)
売建クレジット・プロテクション純額	270	280	290
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー	1,790	1,950	1,950
デリバティブ調整合計	(2,420)	(1,640)	(1,050)
証券金融取引(SFT)調整	250	340	560
規制上の控除およびその他調整	(150)	(140)	(100)
オフ・バランスシートのコミットメントの加重	1,150	1,100	1,050
完全施行ベースのレバレッジ・エクスポージャー	12,330	13,240	13,530
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 資本	415	420	408
完全施行ベースの追加的 Tier 1 資本	46	46	46
完全施行ベースの Tier 1 資本	460	466	454
完全施行ベースのレバレッジ比率	3.7%	3.5%	3.4%

- レバレッジ・エクスポージャーは 2014 年第 4 四半期中に 910 億ポンド減少して 1 兆 2,330 億ポンドとなりました。
 - 貸付金およびその他の資産は 520 億ポンド減少し 7,130 億ポンドとなりました。主因は決済残高の季節的減少 280 億ポンドおよび現金残高の減少 130 億ポンドです。
 - 証券金融取引(SFT)は 350 億ポンド減少して 1,570 億ポンドとなりました。主因は、ノンコアのデレバレッジおよび取引量の季節的減少を反映した IFRS リバース・レポ取引の減少 260 億ポンドおよび SFT 調整 90 億ポンドです。
 - デリバティブ・エクスポージャー合計¹は 80 億ポンド減少しました。主因は潜在的将来エクスポージャー(PFE)の減少 160 億ポンドで、これは IFRS デリバティブおよび現金担保の増加により部分的に相殺されました。
 - デリバティブの PFE は 160 億ポンド減少して 1,790 億ポンドとなりました。主因は取引の圧縮と解約を含む事業活動の縮小および最適化です。これは売りオプションに関連する計算の基準の変更による増加により部分的に相殺されました。
 - その他のデリバティブ・エクスポージャーは 80 億ポンド増加して 920 億ポンドとなりました。主因は IFRS デリバティブが 570 億ポンド増加して 4,400 億ポンドとなったこと、および現金担保が 130 億ポンド増加して 730 億ポンドとなったことが主因です。これは許容されたデリバティブ・ネットティングによりほぼ相殺されました。

¹ デリバティブ・エクスポージャー合計には IFRS デリバティブ金融商品、現金担保およびデリバティブ調整合計が含まれます。

信用リスク

貸付金および減損の分析

2014年12月31日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 ¹ (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	145,114	971	144,143	2,064	1.4	263	18
アフリカ・バンキング	21,334	681	20,653	1,093	5.1	295	138
バークレイカード	38,376	1,815	36,561	1,765	4.6	1,183	308
バークレイズ・コア	204,824	3,467	201,357	4,922	2.4	1,741	85
バークレイズ・ノンコア	20,259	428	19,831	1,209	6.0	151	75
グループ・リテール合計	225,083	3,895	221,188	6,131	2.7	1,892	84
インベストメント・バンク	106,377	44	106,333	71	0.1	(14)	(1)
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	79,622	668	78,954	1,630	2.0	219	28
アフリカ・バンキング	16,312	246	16,066	665	4.1	54	33
本社およびその他事業	3,240	-	3,240	-	-	-	-
バークレイズ・コア	205,551	958	204,593	2,366	1.2	259	13
バークレイズ・ノンコア ²	44,699	602	44,097	841	1.9	53	12
グループ・ホールセール合計	250,250	1,560	248,690	3,207	1.3	312	12
グループ合計	475,333	5,455	469,878	9,338	2.0	2,204	46
売買目的の貸付金	2,693	n/a	2,693				
公正価値で測定すると指定された貸付金	20,198	n/a	20,198				
貸付金(公正価値で保有)	22,891	n/a	22,891				
貸付金合計	498,224	5,455	492,769				
2013年12月31日現在							
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	140,742	1,325	139,417	2,703	1.9	357	25
アフリカ・バンキング	21,586	674	20,912	1,205	5.6	388	180
バークレイカード	33,024	1,517	31,507	1,541	4.7	1,096	332
バークレイズ・コア	195,352	3,516	191,836	5,449	2.8	1,841	94
バークレイズ・ノンコア	40,867	856	40,011	2,118	5.2	320	78
グループ・リテール合計	236,219	4,372	231,847	7,567	3.2	2,161	91
インベストメント・バンク	104,468	-	104,468	-	-	(30)	(3)
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	77,674	701	76,973	1,861	2.4	264	34
アフリカ・バンキング	15,793	352	15,441	722	4.6	89	56
本社およびその他事業	3,072	-	3,072	-	-	(3)	(10)
バークレイズ・コア	201,007	1,053	199,954	2,583	1.3	320	16
バークレイズ・ノンコア	43,691	1,833	41,858	3,148	7.2	581	133
グループ・ホールセール合計	244,698	2,886	241,812	5,731	2.3	901	37
グループ合計	480,917	7,258	473,659	13,298	2.8	3,062	64
売買目的の貸付金	1,647	n/a	1,647				
公正価値で測定すると指定された貸付金	18,695	n/a	18,695				
貸付金(公正価値で保有)	20,342	n/a	20,342				
貸付金合計	501,259	7,258	494,001				

¹ 売却可能投資およびリバース・レポ取引にかかる減損費用を除いています。

² クレジット・リスク・ローン(CRL)は、現在売却目的で保有されているスペインにおける貸付金の再分類およびシングルネームのエクスポージャーの償却の結果、8億4,100万ポンド(2013年:31億4,800万ポンド)に減少しました

要約連結財務書類

要約連結損益計算書(監査済)

継続事業	注記 ¹	2014年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)
利息収入純額		12,080	11,600
手数料収入純額		8,174	8,731
トレーディング収益純額		3,331	6,553
投資収益純額 ²		1,328	680
保険契約に基づく保険料収入純額		669	732
その他の収益		186	148
収益合計		25,768	28,444
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(480)	(509)
保険金控除後の収益合計		25,288	27,935
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(2,168)	(3,071)
営業収益純額		23,120	24,864
人件費		(11,005)	(12,155)
一般管理費		(9,424)	(9,817)
営業費用		(20,429)	(21,972)
事業の売却(損)/益ならびに関連会社および合併企業の損益に対する持分		(435)	(24)
税引前利益		2,256	2,868
税金	1	(1,411)	(1,571)
税引後利益		845	1,297
以下に帰属するもの:			
親会社の普通株主		(174)	540
その他の株主	8	250	-
株主合計		76	540
非支配持分	2	769	757
税引後利益		845	1,297
継続事業からの1株当たり利益			
基本的普通株式1株当たり利益/(損失) ³	3	(0.7)ペンス	3.8ペンス
希薄化後普通株式1株当たり利益/(損失) ³		(0.7)ペンス	3.7ペンス

1 財務書類に関する注記は、英語原文の43ページから46ページをご参照下さい。

2 投資収益純額には米国リーマンから取得した資産に係る利益4億6,100万ポンドが含まれています。

3 その他の株主持分に帰属する税引後利益2億5,000万ポンド(2013年:ゼロポンド)は剰余金に計上する税控除5,400万ポンド(2013年:ゼロポンド)によって相殺されています。1株当たり利益は残りの1億9,600万ポンドと非支配持分を税引後利益から差し引いて計算したものです。

要約連結財務書類

要約連結損益およびその他の包括利益計算書(監査済)

継続事業	注記 ¹	2014年12月31日	2013年12月31日
		に終了した年度 (百万ポンド)	に終了した年度 (百万ポンド)
税引後利益		845	1,297
損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益/(損失):			
為替換算再評価差額	9	486	(1,767)
売却可能投資再評価差額	9	413	(382)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	9	1,540	(1,890)
その他		(42)	(37)
損益に振替えられる可能性のある包括利益/(損失)合計		2,397	(4,076)
損益に振替えられないその他の包括利益/(損失):			
退職給付の再測定		205	(515)
当期その他の包括利益/(損失)		2,602	(4,591)
当期包括利益/(損失)合計		3,447	(3,294)
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		2,756	(3,406)
非支配持分		691	112
当期包括利益/(損失)合計		3,447	(3,294)

¹ 財務書類に関する注記は、英語原文の43ページから46ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表(監査済)

		2014年 12月31日現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日現在 (百万ポンド)
資産	注記 ¹		
現金および中央銀行預け金		39,695	45,687
他行からの取立中の項目		1,210	1,282
トレーディング・ポートフォリオ資産		114,717	133,069
公正価値で測定すると指定された金融資産		38,300	38,968
デリバティブ		439,909	350,300
売却可能投資		86,066	91,756
銀行に対する貸付金		42,111	39,422
顧客に対する貸付金		427,767	434,237
リバース・レポ取引およびその他類いの担保付貸付		131,753	186,779
未収還付税および繰延税金資産		4,464	5,026
前払金、未収収益およびその他の資産		19,181	4,415
関連会社および合併企業に対する投資 のれん		711	653
無形資産		4,887	4,878
有形固定資産		3,293	2,807
退職給付資産	6	3,786	4,216
資産合計		1,357,906	1,343,628
負債			
銀行預り金		58,390	55,615
他銀行への未決済項目		1,177	1,359
顧客預り金		427,704	431,998
レポ取引およびその他類いの担保付借入		124,479	196,748
トレーディング・ポートフォリオ負債		45,124	53,464
公正価値で測定すると指定された金融負債		56,972	64,796
デリバティブ		439,320	347,118
発行債券		86,099	86,693
未払金、繰延収益およびその他負債 ²		24,538	12,934
未払税金および繰延税金負債		1,283	1,415
劣後負債		21,153	21,695
引当金	5	4,135	3,886
退職給付債務	6	1,574	1,958
負債合計		1,291,948	1,279,679
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	7	20,809	19,887
その他の剰余金	9	2,724	249
利益剰余金		31,712	33,186
親会社の普通株主に帰属する株主持分		55,245	53,322
その他の持分商品	8	4,322	2,063
非支配持分を除く株主資本合計		59,567	55,385
非支配持分	2	6,391	8,564
株主資本合計		65,958	63,949
負債および株主資本合計		1,357,906	1,343,628

¹ 財務書類に関する注記は、英語原文の43ページから46ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表(監査済)

	払込済株式資本 および株式払込 剰余金 ¹ (百万ポンド)	その他の資本 性金融商品 ¹ (百万ポンド)	その他の 剰余金 ¹ (百万ポンド)	利益 剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配 持分 ² (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2014年12月31日に終了した年度							
2014年1月1日現在の残高	19,887	2,063	249	33,186	55,385	8,564	63,949
税引後利益	-	250	-	(174)	76	769	845
当期税引後その他の包括利益	-	-	2,518	162	2,680	(78)	2,602
株式の発行	922	-	-	693	1,615	-	1,615
持分商品の発行および交換	-	2,263	-	(155)	2,108	(1,527)	581
配当金支払額	-	-	-	(1,057)	(1,057)	(631)	(1,688)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(250)	-	54	(196)	-	(196)
優先株式の償還	-	-	-	(104)	(104)	(687)	(791)
自己株式の増加	-	-	(43)	(866)	(909)	-	(909)
その他の剰余金の変動	-	(4)	-	(27)	(31)	(19)	(50)
2014年12月31日現在残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958

2013年12月31日に終了した年度

2013年1月1日現在の残高	12,477	-	3,674	34,464	50,615	9,371	59,986
税引後利益	-	-	-	540	540	757	1,297
当期税引後その他の包括利益	-	-	(3,406)	(540)	(3,946)	(645)	(4,591)
株式の発行	7,410	-	-	689	8,099	-	8,099
持分商品の発行および交換	-	2,063	-	-	2,063	-	2,063
配当金支払額	-	-	-	(859)	(859)	(813)	(1,672)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	-	-	-	-	-	-
自己株式の増加	-	-	(19)	(1,047)	(1,066)	-	(1,066)
その他の剰余金の変動	-	-	-	(61)	(61)	(106)	(167)
2013年12月31日現在残高	19,887	2,063	249	33,186	55,385	8,564	63,949

要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

	2014年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2013年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)
税引前利益	2,256	2,868
非現金項目の調整	5,620	6,581
営業資産および負債の変動	(16,765)	(32,833)
法人税等支払額	(1,552)	(1,558)
営業活動からのキャッシュ純額	(10,441)	(24,942)
投資活動からのキャッシュ純額	10,655	(22,645)
財務活動からのキャッシュ純額	(3,058)	5,910
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	(431)	198
現金および現金同等物の純減少	(3,275)	(41,479)
現金および現金同等物 期首残高	81,754	123,233
現金および現金同等物 期末残高	78,479	81,754

¹ 払込済株式資本、その他の持分商品、その他の剰余金の詳細は英語原文45-46ページに記載されています。

² 非支配持分の詳細は英語原文の43ページに記載されています。